京城日報
十三日夕刊
(朝夕刊併せて八頁)
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

獨逸東漸と極東

▲セ將軍鐵橋修理

内田大使等の通過を便ならしむる爲め

日本大使支那公使其他外交團の通路に當るハラノール鐵橋は過般反過激派軍の手にて破壞されたるがセミヨノフ將軍は國交尊重の意味にて同鐵橋を修理し大使等一行の通過に便ならしむるに決したり(哈爾賓電報)

▲駐米日大使聲明

米國駐在日本代理大使は日米兩國政府の商議無くして日本は出兵せずと聲明せり(紐育電報)

支那の形勢

▲陸軍外務代表注意

段祺瑞氏に對し内爭を避くべし

在支帝國陸軍及び外務の代表者は最近段祺瑞氏に對し内爭を避くべき旨非公式に注意する所ありたり右は徐世昌段祺瑞氏等の一派が目下張督軍の兵を北京に迫らしめ馮總統を威嚇しつゝあるが若し之が爲め馮總統辭職し再び政變を惹起するが如き事あらんか帝國有識者の意圖に反するのみならず支那に取りても不利益たるは言ふ迄もなく而も獨禍東漸の憂ひある此の際斯の如き政變は避けざるべからずと依て叙上の忠告を致したるものなりと(東京特電)

▲京奉線軍隊輸送抗議

支那駐屯軍司令官石光少將は支那が列國の同意を經る事なしに京奉線を軍隊輸送に使用したるは不都合なりとて列國代表者協議の結果正式に抗議を提出したり(天津特電)

◇歸任の途次十三日朝入京せる林駐支公使(南大門驛前にて=向つて右公使、左久水外事課長)

第四十回帝國議會(東京特電)

衆議院(十二日)

▲本會議

十二日午後一時廿分開議濱田副議長議長席に著き長田桃藏氏(政友)の石炭市價調節に關する質問、牧川耕藏氏(政友)の植民地統治に關する質問、一宮房次郎氏(政友)の日露、日支兩協約の實行並に支那鐵鑛國有に關する質問、磯部尚氏(政友)の東京市制に關する質問あり、日程に入り、岩崎勲氏(政友)の勸議にて先づ貴族院にて修正廻附せる總豫算案中の四國線繼續費削除に同意す可きや否やを附議し横田千之助氏(政友)是れに同意す可しと提議し滿場一致貴族院案に同意す。

東京市區改正條例中改正法律案●京都市又は大阪市の市區改正に關し東京市區改正條例及び東京市區改正土地建物處分規則を準用し得るの法律案●右一括して後藤内相の説明あり前松正道氏(國民)村松恒一郎氏、木正年氏(憲政)等より質問あり後藤内相是れに答へ、十八名の委員附託●

臺灣銀行法中改正法律案●勝田藏相、説明委員附託●

日本興業銀行法中改正法律案●勝田藏相説明の後十八名の委員附託●

有價證券割賦販賣業法案●柏原文太郎氏(國民)理事として委員會の經過を述べ原案通可決確定●

朝鮮の生産に係る物品の移入税免除に關する法律案●委員長小林源藏氏(政友)報告通り可決確定

重要物産同業組合法中改正法律案●委員長吉田中氏(新政)報告通り可決確定●

福島縣平町小名濱鐵道建設に關する建議案●高岡唯一郎氏(政友)の説明あり委員附託●

沖繩縣特別自治制撤廢に關する建議案●兒玉好熊(政友)我如古樂一郎(新政)兩氏の説明あり

鹿兒島縣大島群島町村制撤廢に關する建議案●林爲良氏(政友)の説明あり、同一委員に附託、次で請願委員長板東勘五郎氏(政友)の報告あり異議無く二十六件採擇に決し同六時二十六分散會

存ぜぬ知らぬの林公使

但し頗る上機嫌、眉宇に漂ふ得意の色

北京へ歸任の途中十三日朝入京したる林駐支公使を水原驛に迎ふ、今公使の乘れる一等車に入れば、今し本田勸業模範場長と久闊を叙するところであつた、發車の合圖があると本田博士は下車したが、偶一人妖艶なる朝鮮服の大年增が控へて居る、公使の從者に訊けば其は貞子といふ婦人だと答へた、これぞ當年の大ハイカラ、元の玄英運夫人が公使を出迎へたのだと判つた、刺を通じて暫く待つ中に軍浦場驛は過ぎた、將に引見の催促に及ばんとするとき、公使は席を起つて『サア此方へ』と聲をかけ、先に立つて寢室に導き『掛けたまへ』

▼至極の御機嫌 昨年末公使歸朝の途を新幕に邀した際とは時候の故か冬と春との相違だ『苦虫といふ奴を悉く内地で嚙み潰されたナ』と思ひつゝ挨拶をする、『ハアー案外永滯在に成つてね』と對ふる公使の其の聲の晴れ〳〵しい、何と無く體胖かな趣がある此分ならば何か面白い話も出さうだと内心北叟笑みつゝ『支那の方は最近又騷いで居る樣ですね』と火蓋を切る『ウム喧嘩をすれば騷がしいサ』と膠もない返答、支那問題に就て、風穴から湧いで出た樣な

▼冷たい皮肉を盛んに吐き出された同じ口から出た言葉とも覺えぬ位『馮總統が辭表を提出するとか、したとか聞きますが…』「知らない、ナーニ出しは爲ないだらう」「支那の關稅引上げは何う片付くでせうか、上海で開催中の列國委員會の協議は大分捗つたでせうか」「分らない、會議中だもの分るものかね」「東滿鐵道長官ホルワツト將軍の北京行の用向は何でありましたでせうか」「新聞に載せてあつたぢやないか」「アレが眞相でせうか」

▼『爾うだらうね』知らないよ」「米佛大使等が北京に行くといふ報道がありました、北京迄引揚ぐるのでせうか、夫れとも北京を經由して歸國するのでせうか」「知らないよ」「秦皇島で張奉天督軍が日本から送つた軍器を取り上げたとか聞きますが、アレは事實ですか、事實とすれば其是非は如何でせうか」「支那人の爲ることが皆道理に分るものかね」然ういふ風で全く取り著く島も無かりけり、だが公使の面上得意の色の漂へるは果して何ものを語るのであらうか。

◎十二日より京城商業會議所に於て開會の鮮滿書記長會議出席者(向つて右より京城大村、釜山花輪、仁川岡本、平壤間城代理)

大連歸着、安東縣著、木浦中川、群山大森、鎭南浦?の各書記長及び本間總督府事務官湯村試補

朝鮮と撫順炭

炭價調節を怎うする=社規の改正=七年度の鮮鐵=鮮鐵に陶汰なし

滿鐵京管局長 久保要藏氏談

大連に出張中なりし久保滿鐵京管局長は[illegible]多いからと云ふので今回二日ばかり本社に[illegible]は十三日朝歸京せり。其の談に曰く

▲大連行の用務 は各種の事務の打合せの爲めであつた、事務處理上の改善、朝鮮炭價の調節問題の如きは其の主なるものである、事務處理上の方は一月に社の組織を改正し鮮滿鐵道運輸の方を統一司掌する交通課も出來た、又業務研究所は去年から總務部の內に設けられてゐる、而して鮮滿鐵道の統一が成つて愚圖々々として居るともう一年になる、然るに諸事務の連鎖を圖る社規は矢張り以前の儘である、それでは遺憾の點も

▲幹部會議 を開き諸々成案を得た、今後滿鐵業務の鮮滿に於ける統一は一府の改善を見得る事と信ずる、又朝鮮炭價の調節を如何にするかと云ふ事も愼重に協議して來た、鮮滿が今日の如く交通並に經濟上密接な關係を作した以上滿鐵は朝鮮側の希望交渉を容れて可成安價に石炭を供給し、寒地に生活さるゝ在鮮の新舊同胞並に漸く發展せんとする朝鮮諸工業の爲めを圖りたいのであるが、何分現今の如く朝鮮地賣炭の大部分を撫順から大連に送り、大連より船で仁川に送ると云ふやうな方針をとつてゐては

▲大連仁川間の船運賃に一噸九圓も徵收さるゝ始末であるから、現在の實價以下に引下げると云ふ事は取りも直さず滿鐵が朝鮮に石炭を買ると云ふ事となるので到底出來ないのである、若し同樣な事をせねばならぬならば寧ろ高い九州炭を朝鮮に移入して會社は現金を幾許宛か朝鮮の方に差上げた方が恰悧であらう、乃で朝鮮の炭價を引下げるには陸運によりて量多を運ぶ外はない、然らば何故現に陸運で運ばないかと云へば輸送力の不足と云ふ事に歸著ではない、大體はなつてゐる、然しそれは全部ではない、何故ならば果して滿鐵の石炭輸送力が不足なら撫順から

▲朝鮮賣炭を大連に仕送る事も出來ない譯でないか、大連に送り得る丈けの貨車と汽罐車が滿鐵にあればその貨車と汽罐車で朝鮮に仕向けたらよからうと云ふ事になる、色々今回本社の關係者と本問題に付調査研究した結果朝鮮賣炭の大部分を大連廻しとして仁川揚げとしつゝある事は輸送力の不足ばかりではない、外にまだ重要と認むべき原因がある、それらを如何にして匡救改善するか而して朝鮮の炭價をどんな風に調節するか、目下の予の所に多少の成案なきにしも非ずだが何は一應研究考査を盡す必要上、今此處で斯う云ふ風になるだらうとは云へぬ然しそこに何等かの途はつくだらう、又撫順炭價調節問題は單に

▲地賣炭のみでなく鐵道用炭にとつても大問題である、鮮鐵は撫順から大連廻しで仁川に揚陸する樣の事にでもなつたらば鮮鐵の經營は非常の困難を告るであらう、と申して鮮鐵の用炭は極めて安く安東渡し噸六圓でに於いて地賣炭は矢鱈に高くては安いのである、大に考へねばならぬ點と思ふ以上の如き意味で、滿鐵から過般總督府に回答してある筈です、鮮鐵道の大正七年度新工事ですか豫算は既に兩院を通過したやうだが未だ當局から公式の命令には接しない、然し總督府で

▲豫算の編成 常時多分通過するだらうと云ふ想定の下に滿鐵は各種の準備をボツ〳〵整へてゐる、總督府よりの工事命令に接すれば夫れ〳〵實行上に就て發表し得る事と思ふが、先づ成鏡線の延長、南大門驛改築、群山引込線問題、釜山に於ける諸種の施設など一般交通運輸上の便宜を增大する施設は先にやりたいと考へてゐる、滿鐵職員の淘汰說、アレは職制改正當時からの問題でした、それをポツ〳〵昨今實行してゐるのだが大した數では無い、又京城管理局管内で既に多少の淘汰を行つたから今日に於ては絕對にやらぬ、のみならず今後は社員增加の必要がある

◎谷田少將渡鮮

陸軍運輸本部長谷田少將は十三日午前朝鮮運輸狀況視察の爲め關釜連絡船にて門司發釜山に向たり(門司特電)

◎白仁製鐵所長官

新任白仁製鐵所長官は赴任の途十三日朝大阪に立ち寄れり(大阪特電)

◎總督邸晩餐會

林駐支公使招待

長谷川總督は十三日午後六時卅分林公使を總督官邸に招待し晩餐會を催ほせしが松川軍司令官、宇佐美內務部長官、古海警務總長、釜屋武官、荻田總務局長、久水外事課長、齋藤大島兩副官、神田秘書官、軍司令官副官、藤波通譯官、閔李王職長官、國分同次官、李完用伯、宋秉畯氏等十七名出席せり

◎統計課新設

總督官房に於て統計課新設の議ありしが道同愈々實現する事となり大正七年度を俟ちて技師一名判任官雇員數名の任用を見ると同時に事務を開始す可しと

◎水産主任打合會(第三日)

道水産主任打合會第三日は十三日午前九時三十分より總督府第二會議室に於て小原殖産局長官統裁の下に開會午前午後に亘り調査事項の報告あり午後三時散會せり

◎鮮滿書記長會議

―第二日午前―

鮮滿商業會議所書記長會議第二日は十三日午前十時より東拓會議室に於て開會總督府より湯村試補臨席前日午後の會議に引續き議事を進む先前日よりの懸案たりし朝鮮商業會議所聯合會規則草案を原案として附議す各條項毎多少の意見ありしが結局原案に修正變更を加へ聯合會規則を可決編成する事となれり之に依ば同會は朝鮮商業會議所聯合會と稱し其の事務所を京城に設置毎年九月本會を京城に開き各會議所は其の代表委員二名を參列せしむべく議事は總て出席議員の過半數を以つて決定すること其他十數條を規定せり而して鮮滿商業會議所聯合會則の草案は之を午後の會議に讓ることとし直ちに本日の提出議案

●第二號 評議員の任期を三箇年に延長すべく朝鮮商業會議所施行規則第十條の改正を當局に要望すること

●同第四號 鮮滿商業會議所聯合會成立の上は其の開會地を輪番とすること

●同第五號 會議所賦課金徴收に付國稅徵收法の規定を準用し強制力を附與せられんことを當局に要望すること

●同第六號 小商工業者保護の爲め庶民金融の圓滑を圖るに就き適當なる施設の研究及び其施行を當局に要望すること

●同第七號 本年適當の時期に於て朝鮮商業會議所聯合主催を以つて南北滿洲視察團を組織のこと(以上各案本會議に於て之を可とせば聯合會の提案として實行方面に移ること)

●同第八號 各商業會議所に於て地方特產品産業其他一般商工業に關し有益なる調査を爲したる時は之を各會議所に周知せしむること

●同第九號 各商業會議所職員の親睦融和を圖り智識向上に資せんが爲め適當なる方法に依り各商業會議所職員間の連絡を密接にすること

を附議す、右第二號案に關しては「評議員の任期二箇年は餘りに短時日にして職務上の熟練より觀るも評議員頻繁の更迭は會議所事務に影響する所多大なるを以て現在學校組合議員の任期と同樣三箇年に延長され度し」と言ふに在りしが贊否區々にして決するに至らず保留案となり第四號案は前議事に據り自然消滅し第五號案に對しては釜山花輪氏の同意說出で結局會議所成立の基礎安固を期する上に於ても強制力を附與せられ度しと云ふに歸著し可決、聯合會案として提出することゝなる次に第六號案は研究問題として保留、第七號案は更に具體的案を附する事とし第八號第九號案に關しては規約することにても其目的の幾分は貫徹せらるべく尚之れが實行方法は研究問題として保留することゝなる時に正午を報じ午前の會議を打切り一同朝鮮ホテルに於ける滿鐵京管局の午餐會に參列せり

◎林公使入京

駐支公使林權助男は十三日朝入京せしが松川軍司令官は副官を隨へて公使を龍山驛に迎へ南大門驛迄同乘同驛には久水外事課長、國分李王職次官、人見鐵道局長、久保京管局長、大田鮮銀理事、中村鮮銀庶務局長其他多數官民の出迎へを受け自動車にて朝鮮ホテルに入れり因に公使は十四日午前八時二十分特急發列車にて出發北行すべし

▲總督訪問 林公使は朝鮮ホテルにて少憩の後總督府に長谷川總督を訪ひ入京の挨拶を爲したり

◎米國遣露鐵道隊長

[米]國遣露鐵道委員長スティヴンス氏一行三名は十五日東京出發釜山へ直行哈爾賓へ向ふ筈

◎吉留直哉氏歸任

總督府會計課吉留直哉氏は議會に關する用務を帶び一月初旬より東上中の處本府に急用あり豫定を繰上げ二三日前歸任したり

◎石原氏へ記念品

金谷京城府尹入澤京畿道第一部長大垣通社長外官民有志十一名發起となり今回新義州府尹に榮轉せる石原留吉氏に對し記念品を贈呈することゝせるが贊同の向は發起人に申込まるべく醵金は來る四月十一日迄に京城府庶務係原田府屬の許迄送附されたしと因に醵金額は二圓一圓五十錢の三種なり

◎支那文藝講演

總督府囑託今關天彭氏は十四日午後七時半より京城倶樂部に於て支那文藝十講の中第五講「宋以後の繪畫」に就て講演を爲すべし

人事消息

▲市口白昌氏(法務課長) 十三日附慶南[illegible]

▲前田高等警察課長 釜山築山各地へ出張を命ぜらる往復十日の豫定

▲中村京城覆審法院檢事長 十二日平壤より歸任

▲吉田幸三郎氏(京畿警務部副官) 十二日[illegible]

▲カーナス氏(京城駐在米國總領事) 十二日仁川より歸京

▲白井水城氏(開城辨護士) 十三日入京[illegible]

彼れ此れ

◇露國前皇室に於て、能く問題になるは、タチアナ姬也。而して又た人騷せの問題、近時持ち上りたりと傳ふるものあり。即ち姬は或夜密に、愁雲閉すロマノフ家を出て、何處にか其姿を隱せり。女主人公が、女主人公だけに、好事者間には、更らに一大問題となりしが、突き知らん姬は、過激派の會合毎に、必ず同會に出席し、一座綠叢中紅一點を點じ、衆眸を一身に集む。元より、其の理由は知らずと雖も、道は四圍の事情よりして過激派黨員中の者と、結婚せんとの、賢い心掛けなりと。兎角亂世には珍事多きものかな。

◇早川鐵冶君の知人にして、獨逸の捕虜等の一部職場にて捕虜となり、現今浦鹽に起居せる墺國人あり。早川君其の無聊を慰めやらん爲めに、日本の女優寫眞を送附す。忽ち他の捕虜等の、羨望の的となり、四方より強請に堪へず、願くば更に、四五十枚の惠送を賴むと申來りたりと。鎧袖一觸にも値なきもの、斯る手合を向ふに廻せば、寧ろ娘子軍の出征こそよからめ。

世界寶石の中央市場
＝ウラル山麓エカテリンブルグ＝
◇白金—綠柱玉—紅玉—
獨逸の永く羨望措かざりし地方

世界に産する白金の大部分を産し其の相場は中央市場なるウラル山の東麓エカテリンブルグ市に於て標準が定まると言はれる程に白金の産に富んで居るウラル山は白金以外にも鑛物や

◇寶石など無限◇ に産するので有名である、最近の調べに依ると白金は約三百プード（一プード約四貫）金は東西西伯利亞を通じて一萬三千九百貫價額にすると約七千萬圓許りを産出し、銅鐵類はヅラトフストと言ふ處に官の製鐵所が四つもあつて鑄鐵鋼鐵など一億二千四百萬貫にも達する

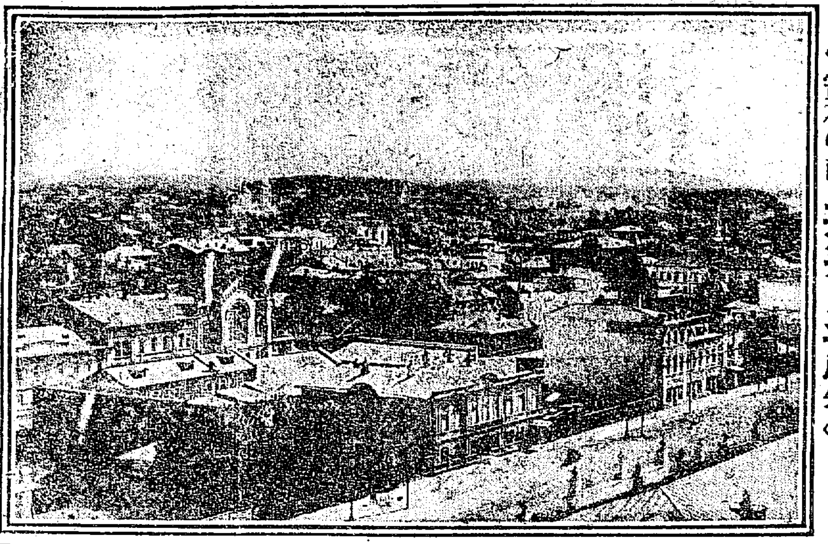
■産額の大半はウラル山から掘り出されるのである石炭は少いが銅は相當に産出し寶石は珍重すべき種類の多い事と豊富な事は世界有數であらうと思はれる、一名ウラル石と言はれて居るウラルケケ、カーメン、指環や頸飾に用ひられるアタモーリン、銅は緑色に夜は牡丹色に光線の具合で二度も三度も色の換るアレキサンドリットなどは

◇露西亞に特産す◇ る寶石類でアレキサンドリットの如きは平時金剛石が一カラット極上品で五百留位で賣買されるが此の寶石は普通品で五百留善いのになると六百留もする綠柱玉も普通金剛石の倍も値が出て居る程で人をして垂涎措く能はざらしむるが此外にもツルマーリン、イスムルトルビー、ピリザ、アメチストなど言ふ高貴の寶石を多く産するエカテリンブルグ市には

■大寶石商が六軒も あつて燦然として翠紅綠黃などの輝やかしい光りを放つ價數千金の寶石が店一杯に散ばつて居る處などを見るとウラルの山中寶石類で光つて居るのではないかと思はれる程である、寶石類はエカテリンブルグ市から莫斯科市に出され此處で加工して

◇外國に輸出され◇ るのであるが、歐米社交界の人々が孔雀の羽根を擴げて美を誇るやうに滿身を寶石で裝飾つて飽くなき虛榮心を滿して居る寶石はウラル産のものも相當にある

■ウラル山は實に獨逸が羨望措く能はない無限の寶庫で露獨間一度平和とならば獨逸は全力を擧げて此處に放資し遺利を開拓するであらうと思はる（小田發氏談）



◇◇寶石の市 エカテリンブルグ◇◇

鹿兒島丸 行衛不明
印度洋にて

大阪原田汽船の鹿兒島丸（五千四百四十六噸）は柴棍よりコロンボへ航行の途中行衛不明となれり（大阪特電）

貯銀事件擴大

既報の廣島山陽貯蓄銀行事件は益々擴大し專務取締上原龜六取締渡邊慶一、櫛田一太郎等亦拘引さる（廣島電報）

中學生の殺人
小刀を脇腹に 同級生を殺す

京都平安中學校第三年生佐々木顯正（一六）は些細の事より同級生竹松（一八）と喧嘩し小刀を竹松の左脇腹に突込み爲に竹松は遂に絕命せしより顯正は目下取調を受けつゝあり（京都電報）

爆發責任者 處刑

昨—爆發の東京倉庫大阪支店分庫の責任者たる仲仕頭は懲役一年十箇月の宣告を受けたり（大阪特電）

金貨兌換事件後報
◇密輸出額百萬圓に上るべし◇

十一日東京日本銀行に支那人三百余名押寄せ百圓宛の金貨の兌換を求め上海に是れを送附する疑ありて警視廳にては彼等を引致し取調中なるが十一日午後横濱より神戸に入港の日本郵船近江丸の支那人ボーイの擧動不審なるより取調べしに同人の寢床の下に金貨三萬餘圓を隱匿し有り此手段にて上海に密輸出されたるもの既に百萬餘圓に上る見込にて其筋にては嚴重取調べに着手せりと（東京特電）

▲金貨三萬圓 密輸出 近江丸ボーイ

郵船上海航路近江丸乘組三等ボーイ支那人風礎の者金貨三萬圓を密輸出せんとし十二日神戸にて捕縛さる（神戸電報）

▲金貨兌換支人 首魁は神戸に

日銀大阪支店へも金貨兌換に來る怪しき支那人毎日五六名あり右首魁は神戸に居る模樣にて目下嚴探中なり（大阪特電）

龍山の火事
元町二丁目 全燒四戸

十二日午後十一時五十分頃龍山元町二丁目二十二番地時計商蒲原芳太郎方と隣家の大工清水清吉方との間より發火して大事に及び前記二戸を初め玩具商大倉大八、學校敎師畑誘入方の四戸二棟を全燒して翌十三日午前零時二十分頃鎭火せり發火と共に龍山、新龍山兩消防組京城より常備消防隊出動して消防に努め龍山分隊よりも憲兵出張して避難保護等に任じたるが發火が深夜なりし爲め發見遲かりしと折柄の斷水に消防上苦心尠からず消防隊にては類燒家屋を破壞して纔かに隣接家屋の延燒を防ぎ居る内漸く通水するに至れり人畜には幸に異狀なかりしも四戸共家財一物だに搬出する遑なく悉く烏有に歸し損害額は建物二千圓、家財商品にて約六千圓合計八千圓に達すべく内建物に二千圓商品に千八百圓の保險を附しありしと尚全燒したる前記二棟の日本建は何れも蒲原時計商の所有なりと因みに同所は塲所柄とて一時は非常の雜沓なりし發火の原因に就ては引續き龍山分隊にて取調中

七星館二階の 一人心中
一郎の色香に迷ひ毒薬にて

兵庫縣伊香保生れ當時南門町脇阪寫眞部技師前田政雄（二七）は十二日朝外出せし儘歸宅せず午後五時頃七星館に到り二階廣間にて酒五本を平げ家人の隙を見て寫眞用昇汞二グラムを服し悶死せるを仲居小波が發見早速附近の醫師を迎へ應急手當し八時慈惠醫院に入院せしも十三日朝七時絕命す原因は賑町遊廓東京樓抱一郎事六石みつ子（二三）の色香に迷ひ主家の金六十圓を費消せしを苦にせしに因る猶十二日附にて郷里にある父に當たる遺書其他京城の伯父及び脇阪寫眞部主人宛遺書寫眞部主任宛等何れも簡單に認めありき屍體は一時脇[illegible]

前東拓大邱所員 萩庭重吉公判

東洋拓殖株式會社大邱出張所前會計主任萩庭重吉が在職中三月以來己が管理する公金三千餘圓を横領費消したる業務横領事件に關し十一日午前十時より裁判長五味判事長尾檢事立會の下に鵜[illegible]辯護士告訴の辯護人として[illegible]の如く被告の住所氏名年齡の訊問より檢事の論告あり被告は業務横領罪として刑法第二百五十三條を適用一年以上十年以下の求刑を爲したるが判決言渡は來る十六日の筈なり（大邱）

遞信局では夙に解雇

『不良少年二人遞信傭習生』と題し十二日夕刊に報せし佐倉某に就き更に聞く所によれば不良少年中の佐倉武夫なるものは本年一月二十八日乙種傭習生として遞信局に採用せしも同人は以前某官廳の給仕時代不正行爲ありし事採用後判明せしに付遞信局は二月二十一日解雇したるものにて犯罪當時は傭習生にあらず尚山内長吉は全く傭習生にはあらざる由なり

野火と溫突小火

十二日午前九時五十分頃京城府青葉町三丁目百七番地李雲集方の溫突焚口より延燒し草葺溫突三間を燒失して同十時十五分常備消防隊の手にて消止む▲同日午後三時四十分頃京城旭町二丁目漢陽公園下の芝原より發火し大事に及ばんとせるを常備消防手が駆けつけ約一反歩を燒きて四時二十分鎭火せり

記者の手帳より
▽朝鮮から出た新進畫家
鐵道の片山要太郎君
□何かも鐵道と首つ引き□ □收入は悉く繪に注込む□

鐵道の素人畫家片山要太郎君が太平洋畫會の展覽會に見事當選した事は既報の通りだが、其片山君は京管の經理課員で何時も厚い帳簿や算盤と

回首つ引き 油繪がドンナものか畫布とは何かチットも知らぬと云ふやうな顏をして居る、けれども幼い時から繪畫に趣味を持ち暇さへあれば畫洋紙に繪の具を塗つて喜んで居た、尤も其頃は單に好きと云ふだけで

回所謂繪心 と云ふものはなかつたが天才の芽が吹き出したのか或は熱心の然らしむるところか、後には下手な黑人は跣足で逃げ出す程の名人になつた、油繪を習ひ始めたのは最近の事だが

回好きな道 は又格別、月々得る收入の大半は悉く繪の具や畫布に注ぎ込んで習作に苦心すると云ふ熱心さに、天稟の畫才を助長する事尠なからず、遂には今回のやうに

回素人畫家 から一躍して大家の仲間入りをするやうな作品も出來たのである、其片山君は謙遜な態度で語つて曰ふ

『溫陽溫泉を寫生して出したのですが當選しようなどゝは夢にも思ひませんでした、全く意外です、コレで自分としては一層の自信を得た譯です同時に從來よりも一層の

回努力を要 する事になりました、將來如何なる程度迄延びるか判りませんが自分としては飽迄眞面目な態度で時流に媚びず、個性の發揮に努める積りです』

誰か此の篤志家を後援して大成せしむる者はないか

美人間諜（六十）
窈窕花の如き

妖僧は自己の文盲を自白した日夫人と彼の神託の下書を渡した日その神託は平常の手許に[illegible]

といた

見ん事夫人の日車に乘つたラスプーチンは更らに其の婦てに乘つて遂に私け生ける神であるから人間の技術は一向心得ないと自身の

◇無學無筆 を恥はずも夫人の前で自白した流石狡猾な妖僧も一時に斯くて夫人の術策の内に陷つて行くのであつた夫人は我事成れりと快心の笑を漂はして斯くもあらんと既にから要意して居た上書の下書きをポケットから出さうとして更らに入念に彼を試みんとした夫人は愛嬌の溢る目でラスプーチンを見上げて貴方が

■平和問題に就て 陛下からお受けになる神託を其儘仰せ下すつたなら失禮で御座りますが妾が今此處で其を書取ることに致しませう其に署名さへなされば其儘ザールにお出になつても差支なからうと存じますがと云つた何たる大膽不敵の振舞であらう

◇彼の文盲 に乘せんとした夫人の此術策は意外に易々として成功した彼は直に夫人に神託なるものを授けたが其神託こそ頑ろ怪しいもので夫人の上書の下書が此の時消昔せられたのも同じである即ち其の神託は陛相スホムリーフ非難が

叛逆事件審問の際 法廷に證據書類として

提出せられたものである（神託の全文は長き故略す）要するに戰爭を終熄せしめよ獨墺との交渉に手段の讓歩をなせ人民に平和を與へて永へに神の恩寵を受けよ戰爭を繼續せば皇后と皇太子の病氣のみならず帝位をも失ふと心得よと云ふにあり）斯くて此の上書は夫人の目的通り

◆露帝の手 許に迄達せられたのであつた而して其後直に彼の第一回單獨講和の密使が伯林から露都に送られたと同時に獨逸の提議は大なる注意を以て受取られた

讀者文藝（一等には五十錢の賞品を呈す）

▲謎（痰壺）

○開港場と解く心は貿易（防疫）もする（一等）　江原道襄陽邑 岩田 鶴子

▲おしやべりと解く心はけがない　武橋町 武[illegible] 子

▲澁滯の政府心は中に押しのある　[illegible]

▲行倒れの死體心は近付いて近つかぬ　明治町 神村 生

▲不良少年と解く心はいつも發官からにらまれる　水町 [illegible] 山

◎タウンセンド氏 [illegible]

朝鮮の鐵道は滿鐵の
[illegible]

商況

東京期米特電
十二日後場 二十六圓五十四錢

兵庫期米
十三日前場 二十六圓十八錢

大阪三品特電
[illegible]

大阪株式特電
[illegible]

大阪期米特電
[illegible]

下關期米特電
[illegible]

大阪綿糸布昂騰
[illegible]

雜報

◎綿糸布昂騰 半票十六手三百二十七圓 龍レー十圓九 布十五錢九龍十一 圓十錢高又 三銘五錢高

◎正米更に小安し

十五錢方の安氣配 十錢方の低落 調節の關係 時局の發展 係が人氣の消長に及

◎雜穀漸く頭重し 人氣一齊に落付 大豆 軟弱に傾く 低落 支那粟 輸送益々

下關相場

南大門の廻穀

仁川正米

望薄く 取引頗る活潑に

◎石油高氣配 十錢既に燈油四 近々幾分の引上決行

◎機械油値上げ 外油五十錢方値上 内地油一現狀維持

◎京油品薄高 厘方騰貴 安値より一錢五

◎金物交換會 洋釘 三時二十四圓見當迄取引行 人氣先高に傾く

◎生果類區々

市場雜觀

十三日前場（保合）
十六錢と同事に寄付き 大阪跡安移 二十二圓二先二
大激戰 依然保合の裡
四錢安 晴天 大阪天候
天候晴 各地

仁川期米

仁川取引所 十三日の五月限

止報 昨後場强硬

外 安を感ずる 正米より見て多少割安
動 此鳴物の爲め一變
調節令 時局問題

迷 人氣は更に 入電未著

田中金兵衛商店 仁川米豆取引所仲買人

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店

仁川米豆取引所 大五仲買店 店主 猪飼政太郎

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

仁川米豆取引所仲買人 ナ仲買店

北濱たより

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎

大阪切米 十三日後場

晴れ一時曇

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に一題又は二題▲

讀者文藝 課題及募集規定

に寄付五錢二節先二十六錢より三四錢五錢二節 [illegible]

強盜を働きて逮捕 [illegible]

柴太郎、金子甚次郎、金澤仙平、唐川龍藏、同正子、金松貝吉、同梅乃、飯田五一、稻田健之介、西川太郎、川上辰太郎、河合律三郎、三方豐太郎 [illegible]

時局と奉天の金融界
◇朝鮮銀行奉天支店最近調査◇

奉天三品市場は一般に不振なりしが米國輸入制限問題及び北滿出兵問題の急を傳ふるや株界の暴落となり奉商見越の綿絲布界も銭先鈍りの氣味にて活氣付かず從つて奉天市場に於ても舊正月明けの商況は引立たず目先懸りたる取引もなく見送姿にて經過せりまた滿洲特產物市場は一時奉天東三省官銀號及び興業銀行の濫發票の濫發によりて一時攪亂されたる氣味ありしも其後平調に復し舊正月明けに於ては銀商の好調につれ漸次好況を呈せり尤も下旬には北滿出兵の急報と共に突如として先物の暴落を見たるも内地米界の暴騰は引いて粟、大豆、豆粕類の昂騰を促し大口註文續々として來り此の方面の賣金は頗る活潑を告げたり然しながら沿線を通じて貨車の配給不足は益々輸送難を喚せしめ金融界も常にこれが壓迫を感じたるは頗る遺憾とする處なり然も大體に於て輸出入の兩方面とも圓滑に經過し陰曆歳末の大決濟期も左程の困難を見ず支商の倒産者をも出さゞりしは喜ぶべし洋相場は倫敦銀塊及び上海市場の弱氣配なるに反し漸次強調を辿り二月初九十六元(わが百圓につき)見當なりしもの中旬には九十四元となり其後益々強氣配を示し月末には九十一元五六十錢見當を唱ふるに至れりこれ偏に特産物市場の好況につれ洋票の需要多大なりしが爲めに他ならずまた露國留紙幣は先月末米國に於ける思惑筋の買進みにて依然强氣配を持續せしが下旬出兵問題を傳へらるゝや俄然暴騰を告げ一躍百四五十留を跳返し五百五十留を唱ふるに至り市場大に活氣附たるも氣迷の暴騰とて却つて反動安を恐れて取引少なく月末には六百留臺を破り猶ほ弱氣配を示せりまた支那側の不換紙幣(四分利附價券並びに濫發票)は其後各方面の協議と納税に多く回收され且つまた特産物出廻りに伴ふ奥地への吸收とによりて市場稍々落付きたるも所謂吉黑押印の小洋票は益々市場に流通高を增加し來り茲にまた兌換打歩を生ずる等幣制の紊亂は殆んど其の極に達しこれが爲め開原にては特産物取引所の建値變更問題を惹起し日支人の苦痛甚だしく當業者をして益々幣制整理の急務なるを切實に感ぜしむるに至れり

奧の開發
有望なる鄭家屯

最近蒙古の鄭家屯より歸奉せる松氏の談に曰く『鄭家屯は最初自分の移任せし九年以前は邦人僅に六名なりしも目下わが國の勢力北進と共に邦人々口三百五十名に達し今後益々發展すべき氣運に向へり同地は從前遼河の流れにより營口との交通盛んなりしも昨冬四鄭線の開通と共に愈々滿鐵沿線との關係を密にし將來東蒙古の貿易地として頗る有望なる土地となれり殊に三月一日よりは我が朝鮮銀行の支店開設あり日本人居留民會の小學校開校あり今や東蒙の奥地も滿鐵沿線と大差なき有樣となれりホテルはまた一昨年より日本人側にて經營されつゝあるが支那側も亦これに對抗する積りにて堂々たる客棧を設くるに至れり支那側人口は約六萬市街はまづ滿洲の鐵嶺とも稱すべきところならんまた最近支那側にては電話を架設し電燈も亦目下支那側にて經營最近開業の運びに立至りたるが何分最近の短時日に長足の進歩發展を遂げるものなりまた鐵道は洮南府線を變更して更らに同地より西方白音太來、開魯方面へ聯絡すべく計畫中の由にて同方面は有名なる東蒙の沃地なれば將來頗る有望なる線路なるべし現下鄭家屯の邦人の事業としては蒙古の名產なる甘草のエキス製造會社及び蒙古天然曹達の精製會社等目論まれつゝあり猶ほ此の程前三井物產鐵嶺主任佐々江氏等の計畫になる日支合辦の土地開墾事業等も有望なるべく目下蒙古の同地方は一平方里の地價僅かに一千三四百圓に過ぎず農業の經營も頗る有望なる事業なるべし土地の物產は滿洲と等しく大豆粟高粱等を主要なるものとすれども牛馬羊等の畜產も亦尠なからず此方面の事業も頗る有望なるべしと

風土に適る西鮮の甜菜栽培地
朝鮮精糖會社　齋藤技師談

時局展開と共に甜菜種子の購入に一大支障を來し昨年來行惱みの姿なりし朝鮮甜菜精糖會社に於ては其後各方面に向つて種子購入の努力怠らず或は歐露に人を派し又は米國に至る等東奔西走奮闘活躍せし結果既報の如く過般神戸に於て露國種子を手に入るゝ事となり愈々同社第一期事業計畫の下に來る四月より黃海道黃州及び平壤附近一帶の地數十町步に第一回甜菜栽培に著手することに決定し會社は之が耕作者其他の重大案件に關し平南道廳と協議をする處あり之が具體的要項は近く發表の期に到達すべく所謂市民一般の期待且杞憂の念を抱きつゝありし精糖會社は其事業の第一歩を開始するに至りしは我國產業獎勵上洵に慶賀すべきことなり茲に於て一日記者は會社に齋藤技師を訪れ甜菜栽培に就て親しく其要を得んと徹せしも偶々來訪者あり且つ其詳細の發表の尙早なる點よりして詳細を得る能はざりしも這は後日に讓り以下氏の談片を掲げ如何に西鮮地方一帶が該甜菜栽培地に適せるかを知悉せしめんとす氏の談に據れば日露の風雲轉た急なるの秋歐米各國に於ける甜菜栽培並に精糖狀況視察の爲め米國に旅行せし際同地に於て當時韓國京城在任の米人モルガン氏の韓國に於ける甜菜栽培に就て詳細なる調査報告中黃海道黃州附近一帶に試作せし獨逸種甜菜の成績頗る良好にして氣候風土の善く此地に適せる旨記せしを見其實否を危みつゝも各地の視察を終へ獨逸に至り露國經過歸國の途に就かんとせしも此時既に日露は國交斷絶を報じ滿洲に入るを得ず再び歐洲を經て歸國すると同時に黃州に於て其試作を行ひたるに初めて米國に於て見たるモルガン氏報告の豫想以上なるに一驚を喫し氏は茲に西鮮地方に甜菜精糖會社の設立は焦眉の急なりと叫び斯界之れに發表し其の後各有志に本事業の有望を說き著々其歩を進めつゝ十二年の星霜を經たる今日會社の實現さるゝに至りしものなりと要するに甜菜根は雨量少き地方に於ては熱溫寒帶の何れを問はず栽培に適すと雖も西鮮地方の如き氣候風土共に良く之に適しパーセントの如きも東京附近に於ては七、八を最高とせるに反し西鮮地方は約二十を得べく栽培方法熟達の期に到著せばヨリ以上の成績を見るや必然の理なれば將來精糖會社の發展に隨伴し西鮮產業界の記錄を破るや期して疑はざる處也

米麥輸出の許可願に就て
當業者注意事項

米麥輸出制限に關し其の許可出願等に就ては尙ほ一般當業者に周知せられざる向き尠からず左の事項に就て注意を要すべしと

(一)府令公布の日以前に契約完了のものも願書を提出する事
(二)在外本邦人にして本邦以外の國より食糧品の供給を受くる事困難なる場合に米麥の輸出を必要とする時は其の所要數量に關する領事の證明書を願書に添附する事
(三)關東州滿洲及び靑島への輸出は本邦人の食糧品として必要なる數量に限る
(四)米及び麥は一定の稅關を經て輸出するものに限り特に一月内の包括的輸出許可を出願する事を妨げず
(五)前項の許可を受けたる者期限内に輸出を了せざる時は未輸出數量に就ては更らに許可を受くるに非ざれば輸出を許さゞる事
(六)米及び麥の輸出は稅關を經由し出願する事、稅關は急を要するものに就ては電報を以て出願を進達すべし
(七)米及麥の輸出許可に就ては急を要すると認むるものは電報を以て許否の指令を爲す
(八)輸出の許可を受けたる者輸出したる時は仕向地の官署の到著證明書を提出するを要す
(九)願書は二通とし左の記載事項を要す一、品名、二、數量三、輸出港四、仕向先地五、輸出の目的六、輸出期間七、輸出者氏名八、荷受主氏名九、市着月日
(十)朝鮮總督宛にして出願者は住所氏名を記し捺印の事尙ほ要急のものは願書に赤紙貼附の上至急と記す事

仁川の壯丁數

四月一日より徵兵檢査開始に付仁川に於ける本年の徵兵適齡者にして朝鮮に於て檢査を受くべき者は九十一名に達せるが之等は來る四月一日より龍山第七十八聯隊に於て受檢の事となり八日各本人へ檢査證を交附されたり而して受檢者は期日午前七時迄に出頭を要すべきに付前日より出京する事になさゞるべからず尙ほ仁川よりの檢査日割は四月一日四名二日十三名三日二十五名五日二十名六日四名の割なるが之を各町別に擧ぐれば本町十七名仲町七名宮町十九名新町六名其他の町四十二名合計九十一名なりと

日支合辦の實業會社
◇資本金三百萬圓…東拓が親會社◇

日支合辦の株式會社東省實業公司は這回いよ〳〵株式の募集を了り奉天本店に於て業務開始の運びに至れり會社の創立に當り百方盡瘁せる奉天龐谷氏の談に曰く

本社の業務は主として滿洲に於ける土地と金融事業にありて資本金三百萬圓第一回拂込は四分の一即ち七十五萬圓にして内七十萬圓を貸付資金に充當せんとするものなり本社は東拓を親會社として同社の資金を運用せんとするものにして這は東拓の窮窟なる定款によりて爲し能はざる點を補ふに便なればなり双方共に好都合ならんと信ず、されば東拓の持ち株は全六萬株の四分の一に當り之れに對して三箇年間五朱の配當を爲し且つ創立費用を補助するの契約なり右の如く本社は事業の性質上普通の營利會社と稍々趣きを異にせるの立場に在り且つまた東拓と共に滿蒙の開發に努むべき使命を有す、されば株式募集に際しても主として一般多方面の應募者を得んと欲したり幸ひにして應募數は公募株の約三倍以上に達したるが株主は獨り之を滿洲に止めず更らに一步を進めて朝鮮に一千株日本內地に於て二千株の振當を試み猶ほ三千株の公募を試みたり今其の各地に於ける株主數を示せば次の如し

大連	六、八〇〇
營口	二、〇〇〇
奉天	六、〇〇〇
安東	二、〇〇〇
鐵嶺	一、〇〇〇
四平街	三〇〇
長春	六、〇〇〇
哈爾賓	三〇〇
各地	一、一〇〇
旅順	七〇〇
遼陽	一〇〇
撫順	五〇〇
本溪湖	六〇〇
新義州	二〇〇
開原	七〇〇
昌圖	二〇〇
公主嶺	五〇〇
公[illegible]	三、〇〇〇

の如くにして此の他前述の朝鮮一千株內地二千株支那人一萬株の割合となり居れりと語りたり

怪しの集團
我兵に射擊したる
◇毛皮の長き外套を著せし◇

八日午後六時五十分頃鐵道守備第一大隊の小黑上等兵が卒三名を從へ線路巡邏中陶家屯驛南方の鐵橋附近にて南方に於て折柄の暗夜にて確かに判明せざりしも約十七八名の怪しき人影現はれたれば約千米突の地點より漸次接近し四百米突の距離に達したるに彼等の內一名は直ちに銃を擬して我兵に向ひ二發射擊を試み忽ち逃走し始めたるが彼等の內三名は普通支那の服裝なりしも其他は身長極めて高く且つ毛皮樣の長き外套を著しゐたるを見たりといへるが或は馬賊の群に非ずやといふ

貧弱なホテル
許りだと三原主任語る

日本全國のホテル經營者主任會議に列席したる奉天のヤマトホテル三原主任は八日歸任したるが其のお土產談に曰く

日本內地のホテルは日光、箱根、京都、奈良等の觀光遊覽客を對手のものが淋しくこれに反し東京、橫濱、神戸等の商業地が大繁昌を極めて居ります、これは從前の觀光客が減少して外人の商人が多くなつた所以だと思ひます、されば例年大名旅行をする米國人の觀光客も今年は餘程少くないだらうと思ひます、神戸では主として露西亞人を多く見ました多分彼等は本國の擾亂を避けて來て居るもののやうに見られました、內地のホテル之れは吾々滿洲の者の眼から見ると非常に貧弱に思はれます、なる程設備はなか〳〵用意周到に出來て居りますが金殿の建物など至つて僅少に見えます、今の向きでは內地ホテルも非常に不足を來して居りますから此の際大に增設しなければ到底應じ切れぬと思ひます、而して食料品は殆んど總て內國產品で間に合せて居ります、これは自作自給の御趣旨から云つても至極よろしい事と思はれます、ホテル主任の協議會と申しても[illegible]なつて居りますが、いろ〳〵の有益な相談も尠なくありませんでした來年は臺灣で開くことになつて居ります、また東京のホテルなどは殆んど毎夜のやうに二百人三百人といつたやうな大宴會で現に私の居た時も精養軒で滿鐵理事長の令孃の結婚披露宴がありましたがなか〳〵盛んなものでした、それに大阪なぞでは鳥渡した宴會なども態々奈良のホテルでする方もあるといふ話であります、土地の心組もなく且つ風光のよい土地ですから休憩するといふやうな便利もあつて至極主客兩方から悅ばれて居りました、大阪から汽車で五十分ばかり……これは中々好い思ひ付きだと思ひました(完)

白山黑水

先日東京から歸つた奉天鮮銀支店の小西支配人のはなしによれば▲內地の人の滿洲の事に不案內なのは此方の人に驚かれる程で全く以て驚かれるは▲しかし近來一般の實業家側には滿洲並びに支那で事業をするといふが一種の箔のつく事となつて來た▲それで假りにも乃公は實業家だといふ以上にはどうしても大陸に何か事業を有つといふ資格がいるとなつた▲これは近來の面白き現象であると▲奉天の陸軍記念日はポカ〳〵の春日和かとよろこんで居ると俄然九日から雨と雪▲ヤハリ風塵萬丈の時を偲べとの天の思召か

都の姉より國元の妹へ
□留學中の姉の音信

御無沙汰をして濟みません。お母樣も御機嫌よく御暮らしの事と存じます。花やかな都會生活よりも靜かな田園の生活の方がどんなに宜いでしやう。寄宿舍の窓から日樣の這入る夕暮の空を眺めて、懷かしい故鄉の人々を想ひ出すと身に泌む樣な憧憬の淚に塞れるのです。お母上の御髮はいよ〳〵白うなつたでしやう。幼少い時から赤毛を氣にしてゐた貴女とお母上に、別便で贈つた物を當てゝ御覽なさい。

■今東京で大流行　美しい頭髮は我々姉妹には不必要なのです。唯一つの難といふ可き貴女の赤毛。よる年を御嘆きなさるお母上の白髮、この二つを見事に黑う、自然の黑髮と見違へさせる許りに染まる染毛劑を別便で送つたのです。京や大阪で大流行の第一の染毛劑の名は「ナイス」……今東京で大流行。自然の黑髮の地色と少しも違はず艶々黑う染まります。

一度染めて剝げず、褪めず、永保し、襟や枕に汚染の患なく、用法至極簡易便利な五大特長あるナイス。有名な健腦丸本舖丹平商會の製で價は大瓶七拾錢小瓶四拾錢男子用三拾錢大瓶なれば二人分も染められますから、大瓶を半打買つて賄りました。

■今迄の染毛劑と違ふ　從來有觸れた染毛劑は染色が如何にも毒々しかつたり、直ぐに剝げたり、染めるのに手數が掛つたり、都合よく往かなかつたのをナイスが出てから見事に完全な染毛劑があると云ふ事が出來たのです。今では東洋各地、凡ての邦の婦人達は髮の毛の黑いのを喜んで、實際完全な染毛劑と言へば「ナイス」の事だと合點する程、各地の大舖の賣價で金銀賞牌の數知れず貰つた極名譽の染毛劑です。これから毛劑を買ふ時は必ず「ナイス」をお求めなさい。妾は都會から御入來の見事な黑髮を想像して明物の知歎にならなかつた事を喜びませう

期米

▲十三日後場　大阪入電變らず當限二十二圓三十五錢より三錢先二十六錢と三錢高
▲中限三節二十二圓二十五錢七錢五錢平均値段二十五錢四節二十七錢
▲先限一節二十二圓二十六錢五錢

後場　寄付 二十二圓二十六錢　高値 二十二圓二十四錢　止値 二十二圓二十六錢　安値 二十二圓二十三錢

……里李三龍(三)同里權炳洞(三)同里金貞培(三)同郡甲川面蒸場內里權文天(三)等は共謀し大正六年……

●連絡船上陸客

十二日午後……前釜山入港新羅丸一二等客　一等(四名)原勝一、松井光太郎、山本唯次、宮尾端一郎、二等(三十七名)……木下元次郎、野本……

十三日午後……客　一等一名林維助、二等二十二名藤永長什、多田周太郎、秋原寬、桐岡まつ、阪部長三郎、池子原、館野三、衣式德、中川參、岡田八之助、外人一名、三等百〇八名

▲都々逸「幸」▲川柳「眼鏡」▲物は付「珍らしいものは」▲…「新聞とかけて」　十六日　十七日　十八日　十九日　二十日

見逃告者には五十錢當籤券を呈す　但何番何號を明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

演藝案內

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番
京阪落語若手一座　落語(遊玉)▲落語手踊(遊生)▲落語音曲(花輔)▲落語手踊(三輔)▲落語(右團遊)▲落語(歌六)▲落語音曲(圓都)▲手踊▲大切喜劇(總出)　入場料は通夜大入の御禮として特に從前通り

大正館　櫻井町　電話八七三
○浪藩血坊齋帳但航海……全四卷　○新派悲劇「幼き母」……○大活劇第六篇「鐵の爪」十一十二篇……

黃金館　電話二二六三七　二六六
○泰西大活劇大使館の秘密全三卷……○新派悲劇鵯の內……

稻荷座　本町五丁目
每日午後六時半より　六日目　……

壽座　京城壽町　電話五七八番
三月十二日より公演　世界的大魔術松旭齋天一嬢出演　……

有樂館　……

謹而近火御見舞　京城府龍山元町二丁目　永田乙吉　電話三四七番

京城府龍山元町二丁目　遠藤白工作所　電話六二五番

京城府龍山元町二丁目　横尾信一郎

京城府龍山元町二丁目　內田半次

米穀商　京城府龍山元町二丁目　野崎商店

昨夜近火の節は早速御馳付被下難有奉深謝候右不取敢以紙上御禮申上候　時計商　龍山元町二丁目二九番地　蒲原芳太郎

昨夜類燒の節は早速御馳付被下難有奉深謝候作略儀以紙上御禮申上候　京城府龍山元町二丁目　執行猪太郎　電話三十六番

獸醫　矢野家畜病院　病室設備　京城若草町九七番地

債券安價提供　四月くじ(送料十錢要)……

八圓即賣　一十圓……錢　同四千圓……二十一圓　鹿海商店　大阪南區……

てんかん　病で永年の苦しい事　……名古屋市南小川町一　無代進呈　救生館

故ウオルター・デンタウンセンド葬送の際は遠路御會葬被下御芳情難有奉萬謝候略儀以紙上御禮申上候　妻　タウンセンド梅子　ゼーデー・アトキンソン

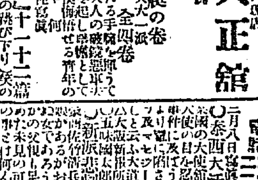
雜貨問屋　長岡商店　釜山辨天町

洋酒　罐詰　糖粉　卸商　釜山　やまづあ

雜貨問屋　明治屋本店

酒精、西貢米、砂糖、麥粉、燒酎、大豆、大米、食料品雜貨　釜山埋立新町　福榮商會　電話長一〇八番

釜山商店案內

最新流行　時間正確

▲瑞西國製　ニッケル側　實用　腕專用時計　賣切
▲瑞西國製　銀側腕時計　學生實用向　特價金七圓
●本品も殘部僅少　尙在金銀側懷中時計最新流行品取揃居候　京城太平通一丁目　京日代理部

京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京釜連絡 京義線(北行) 同(南行) 京仁線(仁川行) 京元線(北行) 同(南行)

塚原卜傳

倍道軒圓玉口演

第十五席

清水又太郎姓名を名乘つて其場へ進み、持参の棒を執つて立向ふ、樋口十藏心得て念流の體中劍に構へヂリ／＼と前へ進む、又太郎も棒を持つては名譽の人、勢烈しく立向ひ、二三合打合せる、一同此勝負如何と鳴を鎮めて見て居る中に十藏後へ飛退り、シテやつたりと又太郎一足飛込んで微塵になれと打込んだ棒飛開いて空を打たせ、體の延びた所を入身になつて横に一本、片手打と引拂つたのが見事胴へ入る、又太郎棒を投出して又『恐入つた、流石は上州の額縣といはる〻光吉殿拙者の及ぶ處でござらん』悄然として引退つた一同此體を見て最早十藏に及ぶ者なき樣子、之は何うしても日本一の額は樋口の手に奪はれる、名譽なるは十藏光吉と感歎して見て居ります、此折神職が神『試合を望む者なければ十藏光吉を以つて日本一と定め弓矢及び旗を與へ、倚額面を掲ぐ、異存ある方々は速かに來つて勝負を爭そひ給へ』と聲を懸ける時に群衆を押分け其れに立出でたる一人小『アイヤ其額面に就いては異存あり、拙者未熟なれども樋口氏と一手の勝負を試みたく、其上にて弓矢旗、日本一の名を與へ給へ』と高らかに呼はつて進み出でましたる人物、之れ即ち別人ならず塚原小太郎勝義であります、神職が神『ハアシテ貴殿の御姓名は……小『拙者は常陸浪人仁科與四郎と申す者神蔭流を學びましたが未だ初心、お手柔かに御手合せを願ひます』十藏十『之れは御叮嚀なる御言葉、拙者こそ御同然でござる』と双方叮重に挨拶して其場へ進んだが十藏一目見ると驚ろいたのは小太郎の身體に一點の隙間もない、また木劍も執られ中に十藏が之れは餘程出來る人物、容易ならぬ敵と早くも見拔きましたのは、十藏も出來る人下手な者はお先眞暗で無鐵砲な事をする、對手が上手だか下手だか更に分らないが十藏位になると其れが鮮かに分ります、已に木劍を執られ中より固くなつて了つたは大した損、俗に氣合負けといふ、ケレども見物には其んな事は分らない、原大隅や多田久藏清水などを敗つた藥條に仁科與四郎なんといふ名も知れぬ若年者が出た處で如何なる者でない、立合ふだけ無益な事と笑つて見て居ります、勿論塚原といふ人は他流試合を餘りしないから顏を見知つて居る人は少ない、併し乍ら十藏は油斷ならぬ對手と思ひ蛤刃の木劍を執直して其れで進む、小太郎同じく木劍を執つて一禮濟んでヤツといふとピタリと構へたが十藏は念流の體中劍、小太郎は僅一文字に付けた之れを見て十藏、何んといふ構へか更に今まで出會つた事がない人もなげなる高慢な付方、ヨシ其儀ならばと心中に怒つて體中劍に構へて進んで行く、之れを見て居て驚ろいたのは親父の樋口十郎左衞門十『大變な者が出た常陸浪人仁科與四郎といふ者は聞た事がない僞名に相違ない今仁科と名乘る若武士の付けた構は、神蔭流の玄妙讃と名付くる一手、亦は松影の太刀ともいふとか、未だ見たる事なけれども當時此手を能くする者は上泉の門下にて龍といはる〻塚原小太郎、此人の外にはあるまいが事に依つたら塚原ではないか、質に非凡な技倆、之れは倅が危ない』と聲は十郎左衞門、目瞬きもせず見詰めて居ります、其中に双方鐵熱してヤツと一聲、一足前へ踏出した十藏光吉氣合と諸共サーツと打込んだ、固より倒の玄妙、横に引いて受流しポンポンボーン打てば開き開けば突入り一上一下一往一來燕尾の折懸飛鳥の散亂虎の蒿たる如く十五六合打合つたが、小太郎大喝一聲雷の落つる如く十藏の木劍を引拂つてエイツと一聲飛上り樣に眉間をビシーリ、物の見事に打込んだ。

人參王丈

京城本町壹●電話一四八〇 一八七〇〇番

㋡ 津村兄弟商會

牛乳 衛生 新鮮

御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

古代 現代 浮世繪 一組十四枚 金一錢

色彩優美趣味絶妙粹品目錄案內 見本入用の方は三錢切手五枚送られよ

大阪北區與力町二丁目 白水社

三月十五日九星 舊二月三日辛酉

本命一白北破佛滅

▲一白 …上手主義の…日新…見合西方は吉縁北 ▲二黑 …まれ…の…日新…手…諸事は吉一切のせわ事を禁す ▲三碧 …を得る日…行 商入門金件求…

男のひみつ病

名譽大金牌受賞 東京順天堂病院始め多數博士大家御證明 全國發明品投票に優等當選 全快禮狀如山

專賣特許手島式眞空療法器は何人も自宅で簡單に卓効ある液力療法も行はれ生殖器不完全機能障害急慢性淋病神經衰弱包皮等を觸る手輕に治すハガキで申込ば說明書を無代進呈

東京京橋本材木町三ノ廿五 東京新療法研究所

大阪市北區北森町一番地 大阪新療法研究所

京都下京區魚棚停留所前 京都新療法研究所

內科 胃腸病 診察夜九時迄

京城本町一丁目 石川醫院 電話一三七二 九〇九番

神經衰弱性陰萎精神的陰萎 衰弱性射精・早漏・夢精・遺精

陰萎にゴスペール本劑は肉體の營養強健を主眼とし植物性補腎新劑にして其主効は生殖器神經に作用し左記生殖器障害に實試上有力なる陰萎增勢藥は今直に用二回用量…

(藥價)九錠入金一圓 廿一錠入二圓 六十三錠入五圓五十錢 …廿六錠入十…

發賣 東京市下谷區長者町 竹島製劑所 振替東京一三九五七

眼科專門 京城若草町 金井眼科醫院 電一五六六 新築落成 入院隨意 日曜祭日午前中

神經衰弱 特効 ユーキリン

柴鑛ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フテ以テ神經衰弱、陰萎、榮養不良、結核諸症、腺病、重病回復期ニ適ス

本品ハ帝國大學教授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木梅太郎博士ノ創製ニ係ル吸收性同化性ノ理想的有機性燐劑ナリ

錠劑 … 散劑 …

東京室町 三共株式會社

電話二二七七番 京城(壽座隣) 山田耳鼻咽喉科 福田齒科 醫院

優等清酒

永樂町二丁目 發賣元 本莊酒店 電話 京城 五六四 六二〇番

外科 皮膚科 瀨戶醫院 (診察夜九時迄) 京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話二四九八番 醫學士 瀨戶潔

▲好評嘖々たる

桃谷研究試驗所創製

美顏洗粉

女學校へお出での方はどなたも御存じ……

▲牛乳や鶏卵は何故美容上有効なのでせうか？ それは牛乳や鶏卵には純良な蛋白質と中性脂肪とを含んでゐる爲めであります。この事は女學校へお出での令孃方は、どなたも御存知の事でございます。美顏洗粉は種々の原料を一々嚴密に檢べて品質の良い原料を用ひてある上、殊にこの純良な蛋白質と中性脂肪とを丁度適度に含むやうに數種の特殊原料を加減して用ひてありますから、美容上牛乳や鶏卵を使ふのと變らない効果がある理由になりますのです。

御內意により謹製したる洗粉

大正四年五月上旬、或る貴資の御係から、佛蘭西製の或る洗粉とクリームとの見本を添へられ、これに劣らぬ優秀なる品質の二品を桃谷研究試驗所に於て調製奉進せよとの有難き御內意が傳へられました。當試驗所にては此上なき光榮に感激し、技師一同飽くまでも深重に綿密に研究を積み、同七月下旬を以て創製品を上納致しました處、二品とも品質の極めて優秀なる事を認めさせられ、爾來常に御用を拜して居りました其二品の中の洗粉を先頃來廣く世に發賣する事にしましたのが此美顏洗粉であります。斯ういふ品ですから一度美顏洗粉を御用ひになりました方は、必ず其品質効用に御滿足遊ばされ、引續き愛用せられる有樣であります。貴族上流の御家庭では多くこの洗粉が用ひられて居ります。

▲美顏白粉、美顏水、美顏ユーマー、白色美顏水 ▲美顏洗粉、美顏石鹸、美顏クリーム

發賣元 桃谷順天館

東京市日本橋區本町四丁目(電話本局一六二六・一六二七・二三二〇番)

東京市麹町區有樂町一丁目(電話新橋二六三九番) 實驗部

大阪市西區靱南通二丁目(電話土佐堀六四七・六四八番)

京城日報 第五版
十四日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

本紙定價 △一部金二錢五厘 △一ヶ月金五十五錢 …
廣告料金 △五號十五字詰一行 …
發行兼編輯人 … 印刷人 小川三之助
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社 電話 … 振替貯金口座京城三〇〇番

十三日後場 … 大阪入電遲らず 五錢より三錢先 … 二圓三十五錢と三錢高
▲中限三節二十二圓二十五錢七錢五錢平均値段二十二圓二十五錢四節二十七錢
▲先限一節二十二圓二十六錢五錢

後場	
寄付	二十二圓二十六錢
止メ	二十二圓二十四錢
高値	二十二圓二十六錢
安値	二十二圓二十三錢

遊支偶錄

蘇峰生

（三）新學は則ち舊學のみ

今日新學の流行するは、決して不思議にあらず。其の名は新學と稱するも、其の實は舊學のみ。即ち數千年來、支那人を支配しつゝある、地下の暗流が、此頃に至りて、地上に露出したるもの也。個人主義の極致は、老莊にあり。權力主義の極致は、商鞅、韓非にあり。吾人は所謂る、新學の新なる所以を知らざる也。

支那の歴史を通覽すれば、堯舜三代より、康熙乾隆に至る迄、所謂る賢君明主は、王覇兼用と云はんよりも、其内容を覇道にして、其の外形を王道にしたるのみ。而して其の胡麗化しの最も巧なる者、之を最賢、最明の君主と稱せり。彼の唐虞三代禪讓の如きも、後世の文飾にして、其實は簒奪の善き曹操、仲達の類たりしならむ。權力崇拜主義即ち正義の觀念は、支那の二十四朝を一貫したる、一大動力にして、千百の孔夫子あるも、如何ともする能はざる也。憐れむ可し大聖孔夫子の教旨も、奸雄が天下の人心を羈絡する、一種の假面以上の効能あらざりしことを。

吾人は支那人が平和的、否な寧ろ文弱的なると同時に、其の權利、及び利益の觀念に於て、甚だ強硬、濃厚なるを見る也。斯る性格は、日常の應接、取引の上に於て、間斷なく暴露せらる。苦力さへも、如何なる場合たりとて、文句なしには、其の賃銀を受取らざる也。彼等は其の目的を達すると、達せざるとに拘らず、必らず酒錢、割增を強請せずんば止まず。而して彼等が、其の目的を達せざるや、其儘泣寢入となるは何ぞや。是れ思ひ切りの善きが爲めと云はんよりも、寧ろ其の利益の打算より、勞して効なきを、謬むるが爲めにあらずや。權利を以て經とし、利益を以て緯とす。是れ支那に於ける思想、及び生活の大綱也。忠恕の道、禮讓の則、是れ唯だ假託のみ。今日に於て、其の眞相を暴露し來るもの、未だ必らずしも、深く嘆息す可き理由なき也。

宋以前の繪畫（四）

於京城倶樂部 今關天彭氏講演

乙、畫法

畫法で一番八釜しいのが六法である。この六法といふ事は、齊の謝赫の古畫品錄に始めて見えて居る。即ち一、氣韻生動、二、骨法用筆、三、應物象形、四、隨類賦彩、五、經營位置、六、傳模移寫の六つである。此中三の應物象形は形似を主とする寫生の意味で、四の隨類賦彩も同じく寫すものによつて彩色をするのであつて、五は畫を畫くに就ての位取り、六は畫を寫し取たりまたすき寫しをする事であつて、別に議論はないのであるが議論のあるのは第一と第二とである。しかし作らその議論も歸するところは人物畫を主とした六法へ山水畫を當て嵌めやうとするところから八釜しくなるのである。そこで氣韻生動とは煙の潤ふやうな有樣だと曲解するものもあり、從つて骨法にもいろ／＼議論が出て來るのである。然るに山水畫は唐から盛んとなり、五代の董源、巨然等より宋の李成となり、近代となるに從つて日增に流行となつたのであつて、謝赫が古畫品錄を著はす時に當つては、山水畫は畫界に重きをなさなかつたのである。その當時に於て畫界に重きをなしたのは何であるかと云ふと人物畫である。そこで人物畫から考へて見ねばならぬ。然らばこの氣韻生動も骨法用筆も人物畫から考へて見ると、氣韻とは人物の氣韻で、一人の人には必ず一人の人の氣韻があるが、その氣韻の生動を指すのである。即ち人物氣韻が畫上に活躍して居るのであつて何も八釜しい議論は入らぬのである。また骨法用筆も、人物畫の輪廓を畫くのに畫法を以て畫くのである。即ち拘研の法で、線を以て輪廓を畫き、次第に色彩を加へるのである。筆法を以て線を畫くところからいろ／＼の描法が出來て來る。高古游糸描などもその一種である。自分は斯の六法をば人物畫の事だと思つて居るのである。然し畫界の形勢が漸次山水に傾く時となると、その傾向によつて六法を之れと引き當てゝ來る。そこで當らぬところがあるから議論が起るのである。これは何でもさうするもので、ただこの六法ばかりではない。とにかく區別をつける爲めに歷史研究の必要が生ずる事となるのである。

山水の畫法で有名なのは、唐の王維の山水訣であるが、これは山水畫を畫くについて風景を斯うせよあゝせよと晋いたもので、遠岫は雲容と相接し、遙天は水色と共に光を交ふとか、酒旗は即ち路に當りて高く懸け、客帆は宜しく水に逢ふて低く掛くべしとかの類である。王維には又山水論といふのがある。凡そ山水を畫くに、意は筆先に在り。丈山尺樹寸馬分人。遠人には目なく、遠樹には枝なく、遠山には石なく、隱々として眉の如く、遠水には波なく、高さ雲と齊しといふやうに、遠近法から書き出して春夏秋冬の風景やら、夜景曉景いろ／＼風景の變化を說いて、可なり面白く、一種の美文と云つても宜しい。但し之が實當に王維の書いたものか何かは判らぬ。それから唐末なる五代の荊浩に至つて筆法記といふものが出來た。これが畫界に筆法論の出た始めであるが、また墨畫の山水が漸次畫界を横斷する傾向が窺ひ知られる。今夕は宋以前の繪畫が主題であるから、山水方面の事は總て略する。

福岡西公園

別府田の浦

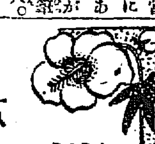
絕勝耶馬溪

九州視察團

福岡 九州沖繩物產共進會
久留米 全國發明品博覽會

◆共進會及博覽會見學と活氣横溢の新九州を視察研究す可く九州視察團を決行す
◆團體は四月十五日京城發往復二週間廿七日著此間遺憾なく陽春の好季を利用す
◆視察地は下關‖門司‖大里‖小倉‖八幡‖福岡‖久留米‖熊本‖鹿島‖大分‖別府等
◆汽車汽船は往復共二等旅館は各地必ず第一流を撰定し紳士團の體面を保つ可し
◆團員は全鮮各道に亘り有爲有資の日鮮人を募集網羅し四月十日を以て締切とす
◆會費は金八拾圓と定む希望の方は其内金參拾圓を保證金とし提供申込まる可し
◆主旨‖計畫‖規定‖日程等は逐次紙上に發表御一報あれば詳細の印刷物を贈呈す

主催 京城日報社 每日申報社



錺（十八）

布施生譯

此の頃巴里には輕地隆九と云ふ世界一つの錺細工の名人がある事を知らないか、どうにか工風して早く輕地の所へ弟子入するがいゝ、貴樣幾歳だ、何十三、然うか丁度いゝ、おい小僧愚圖々々しないで思ひ切つて早速往きなと勵して下さいました、豫々名は聞いて居た輕地師匠の噂、そう云はれては一刻も猶らず、無理に暇を貰ひ飴工面して巴里へ上ると其足で直に輕地を訪ねました、會つてくれるか如何かと胸をどき／＼させながら幸に門前拂も食はされず細工場へ通されて初めて會つた輕地は身體が大きくて眼の鬪いそして無口で意地の惡さうな人でした。輕地は怯々した私の頼を默つて聞いて仕舞ふと突如地金と道具とを持出して、之で指輪を一つ作つて見ろと申しました。一生懸命に作つて出すと輕地はそれを一目みたばかりで委しく檢査もせず指輪は其方退に私の顏を孔のあく程見詰め之なら可い、よし使つてやるから今から己の家に居ろ、と申してくれました。流石名人は違つたもので輕地は金地や細工の善惡は一目で悉皆見分るのでした。

早速内弟子に住込みまして一生懸命に働きますと師匠も初に思つたのとは違ひ無口ではございますが親切に面倒を見て呉れます、愈々喜んで毎日向なく勤めて居りますと內或日突然九つか十と思はれる可愛らしい女の子が歸つて參りました、師にも聞いて居なかつた事とて一時は喫驚致しましたが段々分つてみればそれは師匠の一人娘でそれ迄田舍に預けてあつたのださうでございます、師匠の女房は疾に歿つて師匠は其時まだ四十少し過ぎたばかりでございましたが久しく鰥夫生活を致して居りました、思へばそれも十年一昔、先生樣其娘と申しますのは私の許嫁の町子でございます、房々した髮を稚氣ない垂髮に結つて天使のやうな綺麗な心、田舍者の私を何かにつけて勞はりながら親切に致してくれました、私は町子を當初から好で／＼、其內三年經ち五年經つ內に町子は段々成人びて愈々綺麗になつて參ります、其時分から思ひなしか町子が用もないのに何だか繁々細工場へ來るやうに思はれ嬉しく思つて居ります內に何時とはなく結付いた二人の心、物は言はずに見交す眼と眼、師匠の目を竊んで取交す握手、私は愈々勵みが出て仕事にも師匠大事町子大事と脇目を容まず働きました、或日私が師匠に縫ちましてつい先達てゞございます、其內年は夢のやうに經ちまして細工場で仕事を致して居りますと荒らかに這入つて參りました師匠が突如物も言はずに私を叩倒し、無愛相な聲を一層尖らせて、やい此不埒者め、もう宅には置いてやらない、理由は其方に覺がある。たつた今出て失せい。と私には一言云はせず髮毛掴んで引出しました、餘り亂暴でもあり私も少々負ひましたので如何に師匠とは云へ流石無念で堪りませんでしたが襟髮持つて猫兒のやうに抛出され門口を閉められてみれば詮ない訳、兎に角町外れの下宿屋へ引上げましたが、さて此後の思案より何より第一に心に懸るのは町子の事でございます、どうかして顏が見たい、もしや同じ思で町子が二階の窓の戸をあけて下を眺下してゐはしまいか、私の消息を聞付けて忍んで出てきて呉れはしまいか、そんな果敢ない空想で立つても居てもゐられず私は其晩ふらふらと宅を出て今朝まで自分が寐てゐた師匠の宅の前まで參りました。

▲廣告▼

商業登記公告

商號新設○商號 晋信堂、營業ノ種類 各國時計眼鏡販賣、營業所 京城府鐘路貳丁目六番地、商號使用者ノ氏名住所 京城府仁寺洞貳百六番地ノ 玄錫柱
商號 九天大昌運送店、營業ノ種類 貨物運送及委托品販賣、營業所 京城府南大門通五丁目六番地ノ四、商號使用者ノ氏名住所 京城府蓬萊町貳丁目五拾貳番地 馬昌均
東京織物株式會社取締役山養春ハ大正七年貳月貳拾五日其ノ住所ヲ大連市桂町四區貳拾七號地ニ移轉シタリ
右大正七年參月五日登記
支配人選任 支配人ノ氏名住所 京城府古市町拾七番地 桑田貞吉 主人ノ氏名住所 同所 松井米吉 支配人ヲ置キタル場所 同所
右大正七年參月七日登記
合名會社鈴木商店ハ大正七年貳月貳拾五日小樽區堺町ニアル支店ヲ小樽區色內町八丁目參番地ニ移轉シタリ
右大正七年參月九日登記

京城地方法院

生徒募集廣告

本年四月入學セシムベキ生徒左ノ通リ募集ス
豫科第一學年 五十名
本科第一學年 約四十名
同 第二學年 約三十名
入學志願者ハ三月二十二日以後ノ 又ハ本校ニ付キテ照合スベシ

仁川公立 商業專修學校

新義州へ轉任に就ては行李匆々參趨告別の禮を缺き候にも不拘昨十三日出發の際は態々御見送り被下御厚志奉鳴謝候乍略儀御禮申上候
三月十四日 石原留吉

產婆生徒募集

規則書要郵券
福岡市外水茶屋町 福岡產婆養成所

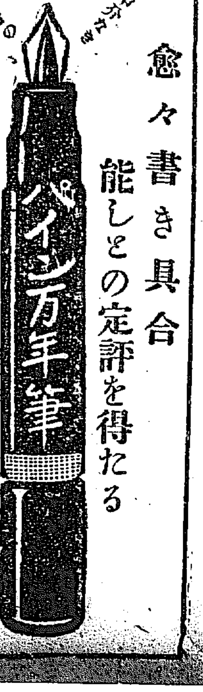
保險金受領廣告

一金五百圓也 被保險者 永田精一
右者大正五年六月八千代生命保險株式會社と保險契約の處今般死亡頭書の金額正に受領茲に同社の確實と支拂の迅速なる事を證明候也
京城蓬萊町四丁目 保險金受領人 永田シゲ

苗木販賣

山林用苗、果樹苗、各種ニセアカシヤ、桐各種澤山あり 盆栽、庭木、草花種子は特價を以て袋貸仕候 其他庭園造營請負
仁川紐峴驛前 花王園 北垣林之助

大日本政府登錄商標
"PINE"



愈々書き具合能しとの定評を得たる
萬年筆の眞價はパインを除き他に知るべからず

特許既願防破裂附
繰出式萬年筆 金六圓八十錢
押出式紳士向 金五圓三十錢
インキ止式婦人用 金三圓八十錢
インキ止式短軸 金四圓九十錢
インキ止式實用向 金三圓八十錢
パイン學生號 金二圓八十錢
ビジネスペン（事務用） 金一圓九十五錢

不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕

發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

短期速成 建築科講義錄

新學期開始—會員大募集—僅か一ヶ年にて建築の奧儀を極む—講師は斯界の專門大家—會費は低廉比なし—講義は平易明瞭にして實用的也—見本附規則書申込次第進呈—途中入會者には種々特典有
東京市麴町區飯田町三 帝國工業教育會

黑鉛製ルツボ 鑄鋼用ルツボ

神戸坩堝合資會社 東洋硝子株式會社新坩堝部 特約一手販賣店
株式會社 常盤商會朝鮮營業所
京城府太平通二丁目三二六番地 電話長五七六番 振替京城四七六五番
定價表御一報次第送呈可仕候

LEGUMON
新滋養劑 レグモン

一日も早く衰弱を恢復せんとせば近時醫界の信認厚き
新滋養劑 レグモン
を服用せらるべし、レグモンは……京都醫科大學教授森島醫學博士より有効滋養劑として醫界に推奨せられたるものにして多量の消化吸收性蛋白質と一種靈妙の作用を有する吸收性カルチウム鹽を含有するが故に、食慾を振起し、榮養を佳良にし、一般衰弱狀態を速かに恢復せしむるを以て、總ての衰弱諸症に最も有効なる滋養劑なり（說明書無代郵呈）
（定價）百瓦入 金壹圓貳拾錢 貳百瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五十瓦入 金四圓五拾錢
大阪市東區道修町 一手販賣元 武田長兵衛商店

越
見切 片側帶 半衿 賣出し
三月十五、十六の二日間
京城 三越呉服店

獨逸東漸と極東

▲獨逸政府に抗議

過激派新外相チツチエリンは獨逸政府に對し芬蘭及びアーランド群島に獨逸軍隊を輸送せし事に關し抗議せり（露都電報）

▲三國後援隊急行

西伯利亞、反過激派はセミヨノフ隊後援の爲め露、佛、米三國兵若干大砲三門を率ゐ十日北京發滿洲里方面に急行せり、協商側協議の決果とす（北京電報）

○東三省巡閲使新設

馮總統は東三省巡閲使なる官職を新設し奉天督軍張作霖氏を之に任命の旨張に内報せり（北京電報）

○奉天軍後續部隊

奉天軍の後續部隊としては近々二十八師全部及び二十九師の出動を見る可しと（奉天特電）

○日本の決心を喜ぶ

英國外務次官セミル卿曰く「日本が西伯利亞の獨逸化を妨げん爲め好んで西伯利亞に出兵せんとせば余は毫も驚くの理由を發見せず日本は獨立の君主國なり獨立國は苟も正當と思推する限り如何なる行動をも爲すを得べし余個人としては日本が與國側の依託者として西伯利亞に出兵する決心を歡迎す」と（倫敦電報）

○朝鮮米の格付確定

東京米穀取引所にては朝鮮米を格付表中に加入し秋田中米より二階級以下に置く事に決し右規則改正を農商務省に申請中なるが近く許可の上は六月物より實行すべしと（東京特電）

○閑院宮殿下

閑院宮殿下には今次九州に於ける兵站演習御見學の爲め十三日午前十一時十分門司驛御發大分縣佐伯に向はせられたり（門司特電）

○山縣公

山縣老公は十三日午後一時小田原發同三時六分東京驛に著し直に自邸に入れり（東京特電）

○松方侯

久しく熱海に避寒中なりし松方侯は十四日同地を引揚げ鎌倉に到り數日間滯在の後歸京すべし（東京特電）

○西園寺侯

田中村に閑居中の西園寺侯も數日中に上京する筈なり（東京特電）

○首相官邸凝議

寺内首相は十三日午前九時官邸にて上原參謀總長と長時間に亙りて凝議する所ありたり（東京特電）

○辭令

十三日左の如く辭令ありたり（東京特電）

陸軍砲兵第六聯隊長砲兵大佐 宮下審吉
免本職補鎭海灣要塞司令官

○二瓶領事東上

齊々哈爾帝國領事二瓶兵二氏は一週間の賜暇を得たりとて家族同伴十二日夜長春を經て朝鮮經由東上せり（長春特電）

○齊々哈爾領事通過

齊々哈爾領事二瓶兵二氏は十三日朝奉天通過東上せり（奉天特電）

○國澤理事長消息

國澤滿鐵理事長は十二日來奉安東に赴けるが歸途安東にて林公使を迎へて奉天迄同車し諸般の打合せを爲すべしと（奉天特電）

○國澤理事長視察

國澤滿鐵理事長は午前六時半來安各所管事務所を視察して各々訓示を爲し午後零時半より海關長の午餐會に列し病院及び社員家族を慰問したる後八時四十分發列車にて北行せり（安東特電）

○荒木中佐通過

久敷露國の戰線に在り先般歸朝せる參謀本部附中佐荒木貞夫氏は十二日奉天通過北行せり（奉天特電）

○金井參事北行

金井鐵道院參事は十三日朝著奉直に北へ向け出發せり（奉天特電）

○永田理事長

永田採木公司理事長は十三日旅順へ向け出發せり（安東特電）

○菊地大佐歸奉

菊地大佐は十三日天津より歸奉せり（奉天特電）

○木浦

▲銀行營業成績 十八、殖銀二支店の二月中に[illegible]萬八千二百二圓貸付同七十六萬三千七百十七圓月末現在預金高百五[illegible]なりと ▲海藻組合 木浦海藻組合にては十五日午後一時より[illegible]木浦經濟會主催の招待會に臨み十二日午前更に木浦を視察し十二時[illegible]せり ▲金澤博士 總督府囑託帝大教授金澤文學博士は十一日終列車[illegible]

[illegible]本に對し船腹の提供方交渉し來りたるは既報の如くなるが聯合國側[illegible]り極めて急を要する交渉なるが故に政府は取敢ず八九兩日に亘り寄[illegible]るの容易ならずして如何にするも重量噸十五萬噸以上は到底提供[illegible]に對して身を入れて折衝に秘らざる可く隨つて船舶問題に對して[illegible]

二月三日清進洞の支那飲食店陳鳳[illegible]迪方に行き一文の金[illegible]

◎南鮮港灣の設備に就て（上）

新任營林廠長 矢野久三郎氏談

今回釜山税關長より營林廠長に轉任せる矢野久三郎氏を訪ひ釜山を去るに臨んでの感想を徴く

▲釜山 自分が鎭南浦から釜山税關に轉任したのは大正三年七月であつた其の時は恰度現在の税關が新築され第一棧橋も完成して居つた自分が來任した當時は貿易額も二千八百萬圓乃至三千萬圓位であつた爲め一般の設備に就て左したる不便も苦痛も感じなかつたが社會の趨勢は最も急速に釜山港の發展を促し忽ち三千二百萬圓臺より次で三千八萬圓となり昨年の如きは一躍して五千七百萬圓の巨額を示すに至つた殊に滿洲より内地への通過貨物及び各税關の保税輸送貨物も激增して一億一千萬圓の數字を表はしたので到底從來の設備では不可能となつた又豫ねての計畫たる第二棧橋及び基部の設備は最も緊急工事として取り急ぎつゝあつたが漸く本月を以て完成するに至つた而して貿易は一月及び二月の統計を對比し各倍額となり本年の貿易額は豫想外の數字を表はすであらう從つて船腹不足の聲は益々其度を高むる事となるべく朝鮮、安東及び安奉沿線の貨物は漸次鐵道に依り釜山を經て内地及び其の他へ仕向けらるゝであらうされば第二棧橋も其の中狹隘を告ぐる事となるべく釜山港としては次年度に對する第二期の設備に著目せねばならぬ之れに就て自分は既に具體的の腹案もあり上申の運びとなつて居たが轉任命に接したので後任者に引繼ぎ實現さる可く努力を仰ぐ積りである

第四十回帝國議會（東京特電）

貴族院（十三日）

▲豫算總會

十三日午前十時開會坂本彰之助氏本追加案は寧ろ事後承諾に類するの傾向あり會期切迫の時提出要求せし理由如何例へば外務省所管電信料六萬圓の如きは臨時事件費より支辨して可ならずやと質問し、勝田藏相は大正六年度の豫算にて不得已分を提出したるなりとの答辯あり、藤田總領事、外務省の電信料の追加は時局關係の必要より追加要求せりと補足し、西野主計局長は更に成る可く速に提出する筈なりしが豫算編成上の都合に依り今日迄遷延せりと述べ、次ぎに江木千之氏、高木兼寬男と、大島陸相、隈局長の間に、米、麥、馬糧及び兵員の副食物の買行に就き問答あり、坂本氏は論を更めて現在の地方制度を以て政府は完全のものと認むるや即ち東京、大阪、京都、名古屋、神戸、横濱の如き大都市に普通市制を布くは時世に適應したるものと認むる能はず如何と問ひ、後藤内相、是等都市に特別市制を布くの利害は目下攻究中なるも未だ此の爲めに要する經費を追加要求するに至らずと答辯あり、木村誓太郎氏と勝田藏相との間に物價調節外米輸入税の撤廢に關する應答あり猶藤田四郎氏より司法省所管旅費、監獄費に關し質問あり討論に移り異議なく議題たる大正六年度追加豫算案を可決し、正午散會したり

衆議院（十三日）

▲共通法案委員會

十三日午前十時五十分開會岡田榮氏（政友）臺灣、朝鮮を内地と同一法案の下に統一し裁判所の如き司法機關は之れを統一するの必要ありと信ず政府の意見如何寺内首相は統治の目的より言へば統一は便利なるが故に、法權の統一は希望する處なるも各種の事情を異にするを以て是れが實行は困難なりと答へ更に前田米藏氏（政友）と寺内首相との間に内地と植民地との間法の解釋及び權限爭議等に關し質問應答あり、野村嘉六氏（憲政）は裁判所構成法に關し小山温氏（政友）は内地法と植民法との形式統一問題に就て、津田一氏（新政）は法の解釋、統一並に裁判新舊制度に就き質問ありしに寺内首相、一々答辯あり、猶野村嘉六氏（憲政）高木益太郎氏（國民）牧山耕藏氏（政友）と首相、法相との間に質問應答あり零時四十分散會せり

◎日米電信の制限程度

矢野通信課長談

日米間の海底電信は自今個人的社交的及び重要ならざる電報の取扱ひを停止せし旨米國側より申出ありし遞信省を經て當局にも通報ありしに付夫々相當の示達を行ないたるが予の見る所によれば其の制限の眞意は過般無線電信による一般電報取扱停止及び時局の關係上海底電線經由電信非常に輻輳するため其の緩和策ならん從つて個人的社交的及び重要ならざる電報と稱するは假へば何々丸にて日本を出發つとか、いつ來るかとか稱する例のものと見るを適當とすべく官報並に貿易電報は其の制限を受けざらん、何となれば官報並に貿易上の電報は其の制限せば由々しき大問題となり又日米電信會社は概ね減却し去るべく又さる事にもならば亞米利加の海底電信會社は非常の打擊を受くるに至るべければなり

◎鮮滿書記長會議

‖第二日午後‖ 鮮滿商業會議所書記長會議第二日は午前に引續き午後二時より東拓會議室に於て開會午前中後廻しと成れる鮮滿商業會議所聯合會會規則の草案に關し種々打合せする所あり結局本會は滿鮮商業會議所聯合會と稱し

▲其の事務所を 大連及び京城に置き隨時問題に觸れて開催することを得るものとせり而して其の第一回は發會式の意味をも兼ね本年秋期に於て開催すべく從つて朝鮮商業會議所聯合會を九月頃開く事に決し終つて各所提出議案中の殘部木浦提出議案

第一號商工業に關する官廳よりの通牒は今後直接會議所に通牒せられむことを當局に希望するの件

第二號商業會議所經費賦課額並に會員資格の制限を撤し其地に相當する經費賦課額並に會員資格の更改を認可せらるゝ樣其筋に稟請するの件

を附議する事となる兩號とも提案者中田氏より一應の說明あり其の理由とする所第一號に關しては從來官廳は商工業者に對し周知を必要とする事項又は商業會議所に對する通牒は概ね其地方廳を經由するの手續に依り然るに地方廳は相當手續を履みて

▲會議所に移牒 するを以つて會議所の通牒を受けたる時は既に時日を經過し其間新聞紙等に依り世上に表はれ當業者より會議所に照會し來る向きあるも未だ通牒を受けざるを以つて之に對して答ふる能はず頗る迂遠の憾あり故に商工業に關し會議所への通牒は地方廳に發すると同時に直接會議所にも通牒せられむことを希望すと言ふに在りしが本案は既に提案第三號に共通せる意味あり希望として當局に開陳することに決定第二號案の審議は其理由は在鮮商業會議所設立當時其筋の通牒に依り會員資格は府營業税十圓以上を納むることを要す「會議所の經費賦課は創立費用、負債償還、又は特別の施設事業に要するものを除く外府營業税總額の三分の一を超過せざること」の制限あり然るに府營業税は各地同率ならず府理事者の思想に依りて府歳入中附加税戶別税に重くして營業税に輕き場所あり或は營業税に重く課して其他の税に寬かなる處あり

▲其税額區々にして一定ならざるに拘はらず之を一定の下に制限するは營業税の輕き府に設立せられたる會議所の頗る苦痛とする所、從つて會議所本來の機能運用上甚だ不便とする所なり依つて之が制限を撤し其地に相當する經費の賦課額並に會員資格を變更し認可申請ありたる時は之を認可せられむことを望むと言ふに在せしが結局提案者の希望として當局に懇談すると成り今期間催議せる書記長會議の議案全部を無事了せしが畢竟各所よりの提議案中會議所事務の範圍擴大に關する案件（釜山第四號及び平壤第一號）並に會議所賦課金徵收に付強制力要望に關する案件（平壤第五號）の二項は近く開かるべき鮮滿商業會議所聯合會への提案となり諮なり時に午後四時之より各書記長意見交換に移り一同は午後六時半より千代本に於ける鮮銀招待會に臨めり

◎化學工業會社

本店を仁川に設置の仁川奧田貞次郎、辻川富吉、高杉昇、田中佐七郎の諸氏及び京城渡邊文治、安達熊太郎の兩氏東京宇佐川一男、林田龜太郎氏大阪際本浦兵衛氏、坪井淺五郎氏其他數名の發起に係る朝鮮化學工業株式會社は愈々本店を仁川に設置する事となり總ての書類調印を濟まし十三日許可申請書を仁川府廳へ提出せり同會社は資本金を五十萬圓とし油脂肥料の製造販賣並に之に關聯する原料の賣買を目的とし更らに進んで石鹸皮革の製造販賣其他副產物の精製販賣並に之に要する原料の賣買業をも爲すべく京城南米倉町に在る京城製油所を買收し仁川へ約五千餘坪の敷地を選定して一大工場を建設各種壓搾機十二臺を裝置し十六馬力の動力を使用して盛んなる製造に從事すべしとの事なり募集株數は殆んど發起人に於て引受け濟みとなる由なるが許可の指令を俟つて直ちに事業に著手すべしと（仁川）

◎鎭海要塞司令官

鎭海要塞司令官古川大佐は十二日夜入 荒井旅館に投宿せり

◎上林道長官出張

忠南道長官上林敬次郎氏は十三日附を以て全北に聯絡する道路開鑿事業並に米豆檢査打合其他地方狀況視察の爲め往復五日間の豫定にて同地方へ出張を命ぜられたり

◎小泉通譯官陞敍

軍司令部通譯官小泉貞造氏は三月十日附を以て勳五等に敍せられ瑞寶章を授けられたり

◎篠田第一部長歸任

九州地方視察中の平南道第一部長篠田治策氏は福岡に於て中耳炎にかゝり治療中の處漸く快方に赴きたるを以つて十一日午前著釜同日夜行列車にて北行歸任せり（釜山）

◎牧臨時土地調査局整理課長出張

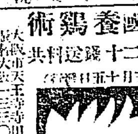
牧臨時土地調査局整理課長は地籍調査並に驛屯土調査事務視察の爲め十四日出發京畿道及び忠淸南道管内へ出張二十日歸京の筈

◎鈴木騎兵監歡迎會

新潟縣人會にては十六日午後六時より龍山元町二丁目新玉に於て入京する鈴木騎兵監歡迎會を催す由出席希望者は土地調査局武山末吉氏宛申込むべしと

☒百閒百種☒

加藤正義、岩原謙三君等の連中三四名先達て盟提の一旗亭に小集を開いた▲席上に出された赤繪の菓子鉢が如何にも珍らしいので先づじつと見入つたのは加藤君▲ソツと手にして見るとまがふ方なき柿右衞門の名作だから堪らぬ▲早速女將を招いて割愛の相談に及んで入札した處が加藤君は一躍三百圓を奮發して唾涎措かざるの風がある▲加藤君は元來陶器の鑑識には一隻眼を以て聞ゆる人であるから▲加藤君の垂涎の狀を見た連中大にどよめいて入札熱めに漸昂したが▲結局岩原謙三君が三百五十圓で落札し得意滿面近來にない掘出物だと大喜び▲其後一日斯道の通人を招いて鑑識を求めた其實は得意の掘出物に鼻をうごめかす積だつた▲迄は頗る形勢が好かつたが通人は頻りに頭を捻つて居たが苦笑一番▲之は飛でもない新物で先ず五圓位のものと斷定したので▲流石の岩原君も呆れて二言が出ず其からは加藤君の此惡戲を惡んで何時か復仇する積で其機を窺つて居る相な▲が富人一宵の座興としては好個の茶番劇たるを失はない▲過日歸來した淺見倫太郎君の退職に關し其裏面には何か威信に關する樣な事があると云ふ人もある相な▲が同君は久しく腦神經痛を病んで居たから旁々此度辭養せん爲に挂冠したので▲他に何等の理由も經緯も無いとは同君を知る某君の談


富國養鷄術 一冊二十錢送料共（三月十五日發行） 大阪市天王寺區… 振替大阪一三三〇〇 合資會社 重枝養鷄園 孵卵器 育雛器 鶏雛卵 大阪製

貴紳士用實用懷中時計大安賣 十八金側片硝子 懷中時計 參拾參圓より貳百圓まで ◎其他貴金屬裝身具一式有之候 地方御注文は代金引替小包郵便にて御送附申上候間揮つて御用命願上候 京城本町武丁目 村木時計舖 電話四七壹 振替京城三一九〇 ステツキもあります

京日案内

普通 一回前金五十錢 番外 一回前金壹圓（二倍の行數） ▲申込後中止の節は料金不返戻 ▲六回以上の御申込は特に割引のこと ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず ▲御照會には必ず數字の番號御記入下さるべく

◎寫眞見習生至急入用 十八歲前後市内に要保證人 本人來談 京城武橋町 菊田寫眞館 電話一八三 474

◎貸家 水標橋南川淵通建坪約四十坪庭園有水道付 ○坪事務所及住宅好適 家賃廿五圓（電九八九）大島

◎配達人至急入用 希望者は本人來談あれ 黃金町二丁目 京城新聞社 513

◎店員入用 但し保證人を要す 龍山元町二丁目 三並金物店（電話三二七番） 512

◎讓店 拾年の菓子老舖急に讓渡す場所は平壤府本町 希望者は京城日報平壤支局に照會 499

◎名刺印刷工入用 但經驗ある者 京城長谷川町百五番地 中田普成社 電話二一〇五番 506

◎醫師及代診各一名至急入用 希望者は本人來談あれ 龍山元町壹丁目 髙野病院 496

◎電話賣物あり 百代の三光物 希望の方は電話二二〇三番（南山町巴城館上吾鄕へ） 502

◎讓店 專賣菓子秘傳附 京城吉野町一ノ九一 瀛陽堂 504

店員 十五歲廿一歲各一名入用 要保證人 要自筆履歷 本町ウツボヤ書店 486

ミシン工至急入用 男女を問はず希望者は照會あれ 平壤大和町 小町屋商店 487

◎店員入用 十四五歲より二十五歲迄但要保證人本人來談 京城本町武丁目 ちしふや 493

番外 ◎店員入用 市内確實なる要保證人 京城南大門通り二丁目 大塚合名會社京城支店 500

◎看護婦至急入用 免狀ある者希望者は本人直接來院の事 京城明治町 外科 和田病院 510

◎店員募集 數名 但本年高等小學卒業の者夜間通學の便を與ふ希望者は本人來談あれ 本町一丁目 山岸天祐堂 507

◎工場係募集 數名 希望者は本人履歷書携帶午前十時より午後三時迄に來談あれ 西門通 （電話一五二九番） 東西煙草商會 503

恩給 年金五年迄 月利二二五 安三年迄 保險不要 京城南大門外 即時立換（電話二六八八番） 舊御成町 山口屋 324

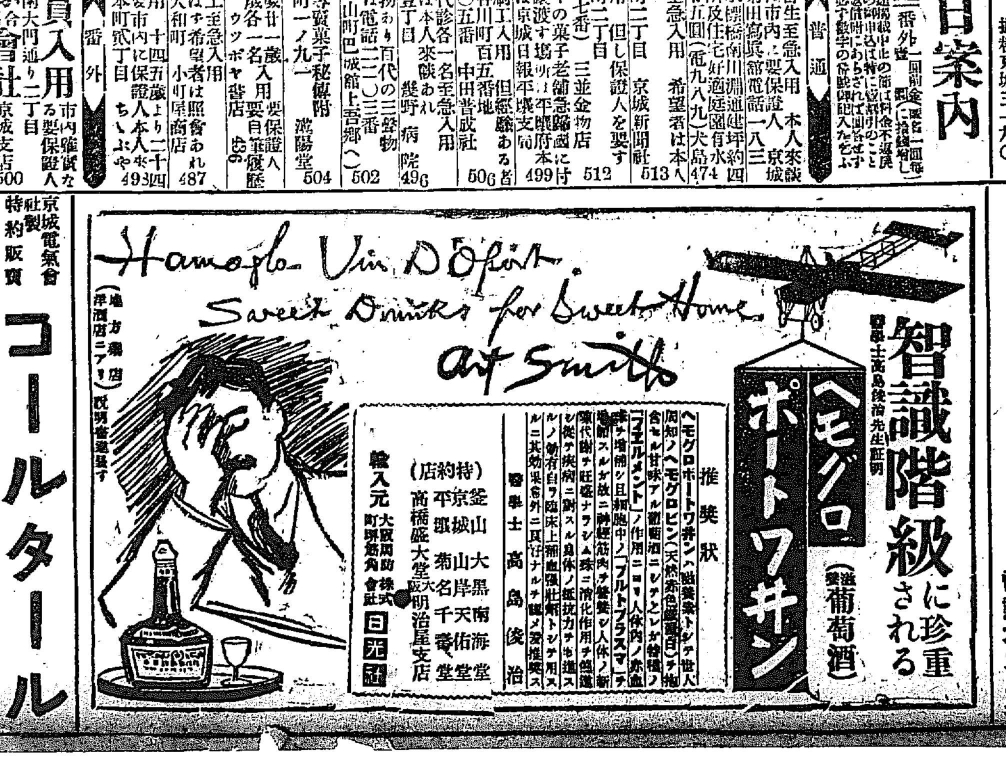
海員 志願者ニ告グ目下海員大缺員數名入用無經驗ニテ内國及外國航路汽船何レニテモ迅速ニ乘船セシムルハ當店ノ特色志願者郵券參錢送レ給料業務案内書及特別通信ヲ進呈ス 大阪市西區本田町二丁目四三 森田屋海員部

日本研學協會編纂 中學校女學校長推奨 最新刊 中學校女學校入學準備者のため 讀方の卷 菊判 百二十頁 定價金三十錢 送料金四錢

本書は現に帝都に於て中等教育に從事せらるゝ專門の諸先生が、多年の經驗により完全に受驗準備を爲し得るやう執筆せられたる理想的の著書にして、第一編は内地及び朝鮮に於ける入學試驗問題を集め、之に模範的答案を附し且又親切なる注意を各問題に加へたり、第二編は讀本中より練習題を選び之に解答を與へ實力を養うに勉めたり、從つて從來坊間に行はるゝ杜撰なる同種の準備書の比に非らず、敢て一本を受驗準備者諸君の座右に薦む。

發賣所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

内科小兒科 京城旭町一丁目 小林醫院 入院隨意（普通病室並に隔離病室） 醫學士 小林千壽 電話六九二番



京城電氣會社製 特約販賣 コールタール 龍山漢江通り八 電話四九番 金物商 島田忠作商店

果樹害蟲驅除豫防には ㊄サンソー液（強度石灰硫黃合劑）

蠶室蠶具の消毒には 蠶病消毒劑（一名クロール石灰）

發賣元 京城南大門通 戶田春藏本店 電話三八六番 振替京城三七五番

▲農蠶具肥料種子各種在庫豐富▼

[illegible]千百八十一圓回收額二十萬三千[illegible]十三萬五千百八十七圓乙及前年同[illegible]
[illegible]四十二圓手形仕訳二百四十四[illegible]月に比し百九十五萬四百二圓の増[illegible]
[illegible]一日早朝[illegible]岩へ向け出發同地警察[illegible]米木當地[illegible]所精米所及び醬油[illegible]六時歸木釀造所等を視察し十二日出發歸任
[illegible]聯合國政府が策戰の上よりして[illegible]米鐵交換交渉は後廻し[illegible]無碍に提供し得ざる事情あり而し[illegible]寄與に添はん事を期せしも各船舶[illegible]して右船舶提供問題は船鐵問題と[illegible]共に夫々就役し居る[illegible]を引揚提供[illegible]俟たざれば米大使も船鐵交換問題[illegible]（三）は京城 北米倉町 居住中

●過激派の落ゆく先
莫斯科と ニジニノブゴロドとカザン市
◇光榮の市！大商業の街！

瑞典ストックホルム來電によれば過激派政府は遂に都落ちを決行しなければならなかつた譯である。そして倫外電には各省各部の移轉先をニジニ・ノブゴロドとカザン市とに數へてゐる。それ等の都市は如何いふ處か？そこは古い露西亞の光榮ある歴史を藏してゐる街々である。

モスコウ市はペトログラードから四百哩の所にあつて、面積は三十三平方哩に及び四五世紀前には宗教上の重要な土地であつた從つて

×クレムリン寺院 の如きは萬壽冊駅百エークの廣を有する實に堂々たる大伽藍である、ピーター大帝の時ペトログラードに首都の移る迄は、代々の帝王の都であつた爲め種々の歴史に有名な古蹟が殘つてゐる

回寒さは甚だし い土地だが健康地で、百十四萬以上の人々がある、十四世紀以後有名な商業市場となつて、十五世紀の時代に入つてはノヴゴロドの富豪が此所に居を移させられたので市場は益々盛大に進いた、十六世紀に西伯利亞を征服して以來西伯利亞、キエフ、支那との商業が旺になつて然も西伯利亞の毛皮を此所に集めて、歐洲へ賣出す事が旺は行はれた、從つて此の市は

×露の中央市 場となつたと同時に、亞細亞と歐洲の商業の大取引所となつたのである、又西伯利亞に必要な食物、衣類初め種々の物品は皆此所から供給された

ニジニノブゴロドは中央露西亞の都市で、モスコウの西方二百七十六哩の所にある、森林地帶を背後に負ひウオルガ河畔の舟楫の便あるを以て古來より露國商業の中心地で毎年七八月には

回大きな市場 が開かれ、その市の模様でその年の商況がトされると云ふ有樣である、これには西伯利亞、中央亞細亞、コーカサス、波斯等からは種々の物資が集まつて來る、街には十一組の高塔が聳え、町の周圍には厚壁を廻らしてゐる凡て十六世紀時代の建物である、なほ十三世紀時代からの

×古蹟や寺院 も殘つてゐる、カザン市は西部露西亞の重要な都市で四時洋々たる波を湛へるカザンカ河の岸にあり亞細亞文明の及べる最西端の都であるイワン王朝時代に征服せられたものであるが住民は黒眼黒髮の韃靼人多く其の日常生活も

回日本人と酷似 して居ると云ふので旅行者を驚異せしめて居るところである、人口十四萬三千餘、内二萬人は韃靼人で、有名なる大寺院が丘山に並び建てられてある、此は十五世紀時代に建立された物で此等の古城郭内に政廳はあるのである、又韃靼人の最も尊崇するスユムベカと云ふ二百四十六呎の赤煉瓦の高塔は古への

×聖者を葬つ た所であると云ふ、この市は西部露西亞の智識の市と呼ばれるだけに千八百四年に設立された同市の大學には一萬人からの學生が通學してゐる、これに附屬する圖書館には廿二萬卷からの藏書があり、殊に東洋に關する學術が最も盛んである。

◇あたゝかい日ざしの下で◇

十餘年同棲した兄の家に放火
邪推と短慮から

咸北會寧郡會寧面二洞の旅館業林部事富田武方から本年一月二十六日の眞夜中午前一時半頃發火して遂に日本式二階建ての同家二棟と家具一つも殘さず全燒して辛くも鎭火した、然るに

◆發火の原因 に就ては不審の點多く全く放火したらしい形跡があり其の結果犯人を嚴重搜索の所犯人は意外にも富田の妻かねの實弟で明治四十一年以來同家に同居して營業の手助けをしてゐた長崎縣西彼杵郡野母村生れの三浦三代治（三）であつた、三代治は逮捕されて咸興地方法院の公判に附せられた、其の

◆自白した要 領に依れば同居してゐた十餘年の間給料とてはびた一文も呉れたことがなく常に不快に思つてゐる内一月二十三日頼母子講金滞納のことから義兄武に嚴しく叱り飛ばされた、其の際三代治は他に出稼ぎするから旅費を調達して呉れと要求したが之亦た見事に拒絶されたから義兄を怨みながら放火の夜迄附近の料亭に泊り込み深夜歸宅して見れば

◆戸締りを嚴 重に施してある扨こそ愈々自分を放逐するものだと邪推して憤怒の餘り板塀を乘り越えて玄關口から侵入し家人の就寢中燐寸を以て洋燈掃除用の油染んだ布巾に放火した旨を述べて居る審理の結果二月十八日懲役カ年の判決となり之れを不服として京城覆審法院に控訴したが三月十三日取下げて服罪した

途中で惡心
預金を持逃げした鮮童捕縛

京城黄金町四丁目朴相陽（一八）は父の奉公先なる同町原田安治方に出入中三月七日原田は現金二百五十圓と通帳とを相陽に持たせ十八銀行京城支店に預入する樣命じたるに之れを受け取りたる同人は途中俄かに惡心を起し其の儘拐帶して南大門驛より汽車にて京元線議政府驛に逃亡し同所より内地に遊學する旨認めたる書面と共に通帳のみは雇主に返送し殘き内金十六圓ばかりを消費し殘金は所持しゐたる所を本町警察署の手配に依りて逮捕護送され同署にて嚴重取調べの結果相陽は昨年十二月中原田一家が内地に旅行して不在中に忍び込み洋服外十三點（百五圓餘）を窃取して鍾路四丁目の質屋李鍾敬町四丁目の金子質屋外數軒に入質したる旨自白し身柄は檢事局送りとなれり

京龍情死史（四）
戀路の闇に 死出の旅を急いだ人々
花咲く春は心中の書入れ時

心中は男が多いか、女が多いか、その方法はどう、季節との關係はなどをだんだん

◆◆研究 して行くと仲々面白い結果が得られる、四十七件の中、見事心中を遂げたもの、心鈍つて生恥曝したものを合して六十七名、其中男は三十四名、女は三十三名、共に大差はないが方法に至つては千差萬別、簡單に區別して見ると

◆◆毒藥 心中が二十八件、短刀剃刀が十四件、水死が三件、短銃一件、轢死一件、縊して合意心中には短刀や身投げ心中が多いやうである、年齢は女は十九が厄年であるが、番茶も出花の

◆◆浮氣 盛りが情死沙汰も二人許りしかなく一番多いのが二十二歳の七人、二十四五六も四人乃至五人あり酸いも甘いも知りぬいた二十八九歳から上は殆んどないが四十歳前後の女には失戀からの一人心中が稀れにはある、男も矢張二十歳頃から三十一二頃までが多く、就中二十五の

◆◆大厄 を挾んで前厄後厄の三箇年間が一番多く二十一二と三十歳は之につぎ六十九歳の老人が妻の死骸を抱いて一人心中を遂げたなど、言ふ例外もある、要するに男女共に青春の血燃ゆる二十歳前後から二十五六歳までの間は人生の危機とも謂ふ可き時期で

◆◆盲目 の戀に陷つた揚句が無分別にも心中騒ぎをするのが皆此の歳頃、道學者も教育家も子を持つ親も此點は特に注意を拂はねばならぬ事と思はれる、心中と時候、此の兩者は極めて密接な因果關係をもつてゐる

◆◆春來 れば鳥は歌ひ花は笑ふ人は浮れて歡樂の夢を追ふ、戀か血かさは春を表徴するに相應しい言葉丈に此の時候は心中の書入時、緑濃い初夏は激しい情熱が湧き立つためか春の情勢か兎に角心中が多く、秋は氣自ら緊張する故か一年を通じて最も少く冬は

◆◆師走 の忙しさに戀の心中のと騒ぐどころの詮議ではないが大晦日は一年間の總勘定日、尻の割れるのも穴の明くのも皆此の時身に覺ひの罪障を見せぬ間にと冥途の旅の一里塚の立たぬまに

◆◆黄泉 へと一足飛びする者が頗る多く、次の統計で見ても解る通り一年の中では師走の月が一番多い殆んど無いのは八月で肌を見てさへ汗ばむ極暑では色戀ま[illegible]が倦怠疲勞を覺ゆるのであらう

◆◆氷水 で冷やし作らの戀では心中も氣乘りがしないらしい左に月々の件數をあげんに

一月	二件	七月	七件
二月	四件	八月	一〇
三月	六件	九月	二件
四月	四件	十月	二件
五月	七件	十一月	二件
六月	三件	十二月	八件

戸締りを嚴

（前掲）

京龍仁園碁大會

來る廿四日（日曜）午前十時より仁川旭屋旅館乾蜂房座敷にて本社仁川支局主催の京龍仁圍碁大會開催一等より十等迄夫々賞品を贈呈會費一圓晝食夕餐粗酒を供する由飛入を歡迎すと

千里眼三田 光一曰く
=十三日本社を訪問=

◇哈爾賓の歸途 大使は十八日著

千里眼の三田光一氏は十三日哈爾賓よりの歸途入京本社を訪問した、「あの日は激しい吹雪で[illegible]を前に傾けて歩いて居ると[illegible]と同時にダアンと[illegible]やられた、棒でやつたかさ[illegible]のある[illegible]を長くして居たのと[illegible]に行つたが

◇自分の確言 した事が當つて居つたと喜んで居た。内田駐露大使も二十日に哈市に到著するだらうと京城日報を見たら書いてあつたが事實十八日には著くと云つて居た。

[illegible]透視は可能だが念寫は不可能だなんて[illegible]

客馬車汽車と衝突
死傷者數名を出す

十二日午後九時頃鹿兒島縣始良郡帖佐村黒木酒二（二七）は客馬車に二十七名の乘客を乘せ加治木、重富間の踏切を横切らんとせし折柄[illegible]進し來れる上り貨物列車と衝突し死亡者二名重傷者一名輕傷者四名を出したり（門司特電）

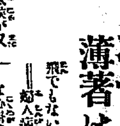
竊盗犯人 六百名

大阪府下河内郡[illegible]の刷毛職工は製造主より依託の毛を製造の際竊取せし犯人六百名の多數に達し居る事發見し内六十四名の犯人十三署に檢舉せり（大阪特電）

卅名行衛不明

新潟鐵工所員五十六名十二日夜船にて新潟に赴く途中信濃川にて風浪の爲め沈沒し三十名行衛不明となれり（新潟特電）

春先に 薄著は禁物
=婦人病もこれから多い= 飛でもない病氣を惹き起す



●一旦暖かくなつた氣候が又盛り返して寒さになり立春後に雪が降ると云ふやうな時は全く人身に危險でなりません少し許り暖かいからと言つて急に下著を脫いだり羽織を脫いだりするとウカリ風邪に罹るものです氣候の變化に[illegible]よく服装しないといふのが春先又は秋に病人等の多い譯で[illegible]をして風邪を引かぬ樣な心掛けが第一です

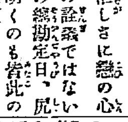
●今迄は用心をして居た防寒の用意も少し暖かくなつたからと言つて一時に油斷をすると飛んでもない病氣を惹起するものです[illegible]よりも寧ろ暖くなりがけの時に多く起ると言ふのは之れが爲めです共れと云ふのも全く油斷大敵と云ふ事から來る不用心の結果であります

[illegible]して[illegible]既に春らしい暖かさであつても朝夕は又寒[illegible]の寒さに歸るものですから[illegible]同樣の薄著をして居ては直に風邪を引き其れが原因に成つて遂には惡ろしい病氣を起すのです[illegible]

●小供は[illegible]

●[illegible]申す迄もないことですが[illegible]（某醫師談）

△乃木大將と加藤清正



[illegible]

大學目藥

登録商標

「内外各處に賞用せられ効能最も卓越せるは本劑なり」

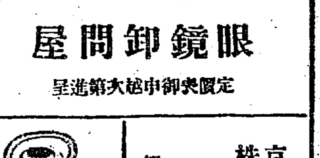
大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基づきし貴重なる製劑にしてはやり目・星目・トラホーム・のぼせ目・疲目其の外眼病一切に驚くべき治効あり △十歳以下の小兒の爲めに別に小兒用大學目藥あり

大阪 合資會社 參天堂藥房 發行

最新刊

- 實用的強健法 伊藤銀月 九〇
- 理想の子守法 服部北溟 一、〇〇
- 住宅家相之話 上 葛野壯一郎 一、三〇
- 茶話 讀賣新聞社 四〇
- 日蓮宗派逸話集 宗教研究會 一、二〇
- 莊子私纂並講義 土屋弘 一、一〇
- 神秘口よせの術 雙龍軒先生 一、二〇
- 文字の敎へ方 後藤朝太郎 一、五〇
- [illegible] 一、三〇
- 青年の修養 [illegible] 四五
- 米國物語 成澤冷川 一、二〇
- 一九一七年現代の八大強國 長田新露 一、〇〇
- 支那の眞相 大河平隆光 一、七〇
- 鮨れるまで 佐久少佐 一、二〇
- 小生の手紙 大町桂月 一、三〇
- 小說の作り方 田中秋聲 五五
- 株式市場必勝術 星月農人 二、〇〇
- 高等學校受驗及第秘訣 學驗研究會 六五
- 誰にもできる蓄電池及充電機製作法 附取扱法 一、三五
- 兒童の文章力に於ける監方指導の實際 氏家丑次郎 一、五〇

大阪屋號 京城本町 振替京城二五七



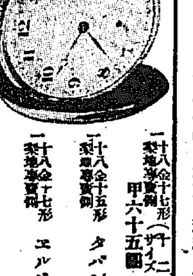
眼鏡卸問屋

大阪市南區東清水町 谷本郡三商店 振替大阪三九五一九番

定價表御申越次第進呈

京城電氣株式會社 瓦斯コークス 一手販賣所 京城南大門通五丁目 越野商店 電話貳〇貳壹番

卸小賣共廉價にて販賣可仕候特に地方は迅速に御取扱可申候



十八金十七形（十二サイズ）アメリカウオルサム會社特製 一等實側 甲六十五圓 乙五十五圓

十八金十五形 タバンス會社製 一等實側 金四十五圓

十八金十七形 エルジン會社製 一等實側 金四十五圓

一同十四金側 金三十八圓

賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

◎やきものが安い◎

物價騰貴之折柄弊店儀は此際産地と特約をなし出來得る限り大勉強を以て安價に販賣致候間多少に不拘御用命之程偏に願上候

追而卸賣の儀は精々御便利に御相談申上候

京城本町二丁目 蓬莱生命保險相互會社京城代理店

陶器卸小賣商 久 久保田商店 電話一五五三番振替京城一六五番

鑛物分析

京城旭町一ノ七一 鮮滿工業社鑛務部 電話三〇六〇

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千貳百貳拾萬圓
總預金 貳億貳千六百萬圓

株式會社 第一銀行京城支店

支配人 西村道彦

京城府本町二丁目（振替口座京城一七番 電話二番六二番三一一七番）

●大阪財界便り

△浦鹽貨物激減 最近浦鹽に於ける形勢は至極平穩にして事る常態以前に勝る程の秩序を保たれ居るも北滿洲方面の特産物出廻り殆んど杜絶せしを以て大阪商船會社定期船鳳山丸の如きは復航貨物皆無と云ふも可なるべく旁々往航も辛うじて二三百噸の積載貨物を得て航海を續けつゝあるの狀態なりと

△印度向綿絲布 印度向綿絲は細絲三十二手四十二手の需要旺盛なるも内地細紡の生産力之に伴はざる爲に需要を充すこと能はず目下取引なきが我二十手は依然需要あり今回三井物産の手にて一梱三百五十五圓五百梱の輸出あり一方細布シーチングは相場本邦商の爲め需要捗々しからざるも近頃弗々商談開始を見るに至れり

△印棉高と支那棉 印棉相場九十五圓臺の暴騰となり且つ爲替關係の不圓滑等の關係より之れを支那棉に代用するは有利なるを以て同方面に注目するもの尠なからざるが支那棉にして二十手に適當の棉花は産額少なく大部分は十六手以下の代用棉と爲すに過ぎざるもの多く支那産地に於て米棉種の試培を爲したるも其結果良好ならず且つ年々種子を米國より輸入するの要ある爲め採算引合はざれば風土氣候の關係上支那棉は矢張り支那棉として十分改良するの外なく目下産高少なき廿手適當の棉栽培を充分に發達せしむれば相應に印棉調節に利用するを得べきも支那政府の熱心なる努力と相俟たざれば改良の望なし又朝鮮の米棉種栽培は可なり成績よきも棉栽培適産地少なき爲め太絲を本位とする本邦紡績業は依然印度棉に依賴するの外なき狀況なりと

△露國藥品杜絶 醫藥として需要多きサントネ、麥角は近來露國よりの輸入減退し居れるが露國の紛亂と共に前途輸入杜絶するに至るやも測られず然るに本邦にては之を供給する事能はざるを以て相場は一割の奔騰を告げたるが或は供給杜絶するに至るべしと見越し目先頗る强硬を持し居れり

△曹達灰弱合 曹達灰は一時苛性曹達の高値なる爲め之が代用品として相當の需要あり相場も氣丈なりしが其成績思はしからざる爲め市況軟弱の唱へにて十錢五厘と下落したるが英國品も弗々輸入さるゝを以て目先弱含みなりと

△苛性曹達强硬 苛性曹達は益强硬にて廿九圓五十錢見當を唱へ居れるが先物品の外今後米國よりの輸入殆んど絶望なるに内地生産高は僅に二千本内外に過ぎず到底需要を充す能はざるを以て先約品の輸入終了と共に品拂底の爲め相場昂騰すべしとの見越にて思惑買もあり旁々遠からず三十圓を拔くべしと

△支那稅關獨占 支那の稅關は關稅の大部分列國債權の擔保なるを以て日英佛其他の債權國代表者樞要の位地に就き關稅事務を處理しつゝあるが其人員は各國貿易高即ち關稅を支拂ふ多寡に依り選定し當務者の順位は貿易第一位國を主任として以下貿易順に次位を定めたるものなるが戰前は英國の貿易南支に於て發展し北支にも相應の位置を占め貿易額第一位なりし爲稅關の主腦部は英國の占有に歸し本邦貿易は第二位なるも樞要の地位に就能はず唯員に備はるの觀ありしが戰前大正二年の貿易に於て英國香港貿易二億五千萬圓本邦貿易一億九千萬圓なるも香港貿易其六割は日本品の供給に係るものなるも英人は之を英國品として關稅を取扱ひ第一位を維持するに力つゝありしが大正三年には香港二億七千二百八十三萬圓日本二億七千三百四十一萬圓となり僅少の差を以て日本第一位を占め之に香港仕分け約六割を加算すれば日本は遙に英國を凌ぐ譯合なるが多年樞軸を握りし英人は容易に日本に讓らず依然稅關の權務を獨占し特に香港稅關に日本品として關稅を拂はんとすれば物貨の價格を高く見積りて壓迫し之れを英國品とすれば無事に通過するなど貿易第一位維持に汲々たるものあり是等の點より見れば英國が如何に支那に重きを置き英風のゼントルマン式に多少反するに拘らず既得權を擁護するに汲々たる其間の消息を覗ふに足べしと某貿易商は語れり(大阪支局)

◇春の日の花見姿
髱と鬢と
粹な意氣筋に持囃される飛行機鬢など

水々しい丸髷の花見姿も之からそろ目にたちます、毛の善い惡いに拘らず頭髮の形はほんの櫛加減僅かな呼吸にあります、頸筋の短いお方でも髱は出加減の方が格好が宜しうございます、一番お顏を引立たせるのは

◇鬢の具合 であります、鬢を出す時には結ふ人の呼吸一つがむづかしいのであります、同じ方法で同じとかしかたを致しまして持つて行く手の加減で毛が多くも少くも見られるのであります、鬢の毛をふつくりと多く見せるには、髱の毛も裏と同じ樣に釣れない樣につけるのが秘術です鬢の

◇髱を返し て見ても少しも毛が釣れて居ませんから全部の毛が立つて多く見られる事は事實であり又後からの撫附もよくきくのであります、飛行機鬢と云つて一つ捻つた樣な鬢は、よほど粋な器用なお方には似合ひかも知れませんが、普通は一寸撫でつけにもお困りの樣であります、次にむづかしいのは

◇根かけん です。根をぎゆつと摑つて食指の處を中心に見當をつけて根かもじを入れさへすれば少しも痛くなく禿げる憂ひもありません、髱と鬢との重なり目は鬢がしつくりと頸筋を帘めた上へ鬢が幾分下の方を鉤加減に重ねますと、何どもいへない好い恰好に品よく見ゆるものです(某女史談)

□冴へ返る 五の日十の日會
冴へ返る掛時計の一つはある家で 浮碧樓
筆をなめて書きつけ冴へ返つて 鳥堂

新刊紹介 (到着順)

▲新小說(三月號) 小說に夜の雪(長田幹彦)、顏の恐れ(小川未明)、人面疽(谷崎潤一郎)あり共他トルストイの書簡、昇曙夢及び趣味ある讀み物多し(三十錢東京日本橋通新陽堂)
▲住宅(三月號) 十錢、東京芝區琴平町住宅改良會
▲婦人週報(三月號)、四錢五厘、東京牛込區市ケ谷田町二丁目共社
▲青年界(三月號) 十三錢、東京神田區三崎町三丁目共社
▲工業生活(三月號) 十三錢、東京小石川區表町大日本工業學會
▲日本幼年(四月號) 十三錢、東京京橋區疊町東京社
▲新聞學及文章講義(第一號) 東京麴町區有樂町大日本新聞學會
▲名古屋商業會議所月報(二月號) 非賣品、名古屋商業會議所
▲教育時論(三月號) 十錢、東京麴町區飯田町四丁目開發社
▲世界公論(三月號) 二十六錢、東京小石川大塚辻町共社

讀者の領分

▲京城の門構への家に住む方が夜間郵便受を造へてるのは甚だよいが表札の明瞭に知れぬため誰の受口か充分に知れぬ配達に一方ならぬ困難をする希くば受口に姓名を明記して貰ひたい又更にない方は早速裝置して戴きたい(南大門外配達生)▲櫻井町の某大工よ夫婦づれにて一晝夜も二晝夜も碌々家に寄つかず家を外に詩から遊びに耽つて居るが子供を可愛想とは思はぬか(見兼太生)▲憤怒生よ、君今五六年も心理學でも研究して來給へ朝から晩まで働くばかりが活動ではあるまい、朝湯にでもはいりて精神を落著けてのち仕事にかゝる快味を知らずや(エス生第一聽後軍)▲追々と陽氣になつたので大通小通を問はず下手な自轉車の稽古を始めた稽古の本人は至極香氣にヨロめいて居るが通行人は迷惑でならぬ(老眼鏡)▲龍山三驛の君子さんは大變文學が好きだつてさ、好きこそ物の上手なれで歌文に長を得てゐられるさうだその事實は知らない(丸卓子)

日報俳壇

■洪州吟社詠草

奉納の繪馬に自贊や三の午 一葉
高麗人の田に燒く山畑哉 寸鐵
高樓に迫る暮色や春の雨 有常
初午や郭寄進の石燈籠 撫騎
山を燒く畑が飛ぶ汽車の窓 石楠
宵晴れて月の白きに鳴く歸雁 松通
初午の幟並ぶや梅の村 伯水
願解の繪馬納めるや三の午 烏樓
船人の夕空仰ぐ歸雁かな 一水
物賣の兒が暮れて行く燒野哉 墨水
野燒く烟に牛物食める徑哉 同

■芦の芽吟社詠草

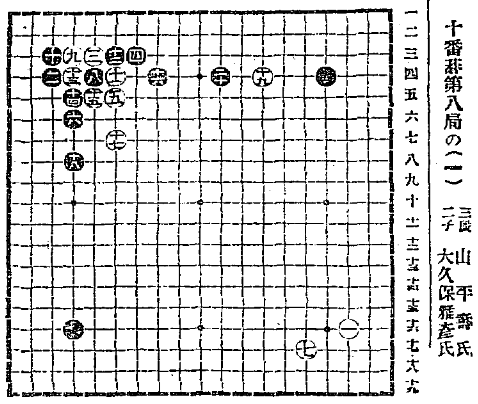
冴返る江に影動く倉庫哉 楚川
鍛冶湯の灯に冴返る並木かな 同
冴返る二階の硝子障子かな 同
耶蘇の鐘に冴返る丘の部落哉 球川
江に鎖す部屋の日暖や冴返る 同
冴返る木殿の音や夜の門 木公
街頭に貧むポプラや冴返る 同

▲春の句 俳句會報、吟行句會に表題を設け(日常の生活を詠みたる句)を募る [illegible] 付ありたし

碁戰

十番碁第八局の(一)

三段 山平 秀氏 先
二子 大久保雅彥氏



一	ハの十六
二	レの四
三	ヨの三
四	ワの三
五	カの五
六	タの六
七	ホの十七
八	ヨの四
九	タの三
一〇	レの三
一一	カの四
一二	カの三
一三	タの四
一四	ヌの五
一五	ヨの五
一六	ナの四
一七	カの七
一八	ヌの八
一九	トの四
二〇	リの四

大阪株式(十三日後場)
日本郵船 [illegible] 一八八、九〇
[illegible]

大阪米(十三日後場)
[illegible]に寄付五錢二節先二十六錢より三四錢五錢二節二十六錢五錢四錢五錢とこり四錢三節中二十五錢より錢四錢三錢四錢三節二十四錢四錢四節 [illegible]

資本金參百萬圓
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切に取扱申候
明治三十八年設立
京城府南大門通四丁目五番地
株式會社 漢城銀行
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
支配人 張弘植
電話 六四六番 二二三九番
振替 京城一八六二番 二〇五
支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門
出張所所在地 鍾路、東幕

京城本町二丁目(寺前通) 電話二一六番
高井醫院
内外科 小兒科 花柳病
診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄
院長 正六位勳四等功五級 高井貞治
副院長 千葉醫學士 松崎正彥